

平成24年度 情報セキュリティ対策推進事業

**中小企業情報セキュリティ対策促進事業
実施報告書**

平成25年3月29日

特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会

目 次

第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要	- 2 -
第2章 指導者育成セミナー開催概要	- 5 -
第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数	- 6 -
第4章 指導者育成セミナープログラム	- 8 -
第5章 作成した教材のポイント	- 9 -
第6章 指導者育成セミナー参加者に対する支援策	- 10 -
第7章 各地の開催状況(開催日程順)	- 11 -
第8章 指導者育成セミナー実施状況	- 34 -
第9章 開催会場からの意見	- 50 -
第10章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見	- 54 -
第11章 指導者育成セミナー担当講師意見	- 65 -
第12章 講師スキル養成講座開催状況	- 66 -
第13章 指導者による地域での講習会の開催	- 73 -
第14章 まとめ	- 80 -

第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要

【事業の目的】

経済社会がグローバル化する今日、IT化の進展によって企業の生産性が飛躍的に向上し、国境を越えたサプライチェーンが高度化してきている。その一方で、インターネットを通じ、社内やグループ企業内のコンピュータ、ネットワーク、従業員の家庭のコンピュータから、企業情報の漏えい、個人情報の流出などの事件・事故が相次いで発生しており、その内容も多様化する一方となっている。このような情報セキュリティに関する事件・事故は、利用者である顧客に重大な損害を与えるだけでなく、企業そのものに金銭的な不利益をもたらすとともに、社会的責任を問われ、企業としての信用・信頼を失うおそれがある。またさらにはIT活用の阻害要因ともなり、社会経済全体への悪影響を及ぼすことになりかねない。

これまで、関係機関の理解と協力のもとに様々な事業を行うことで、我が国の企業の情報セキュリティレベルは全体的に向上しつつあるが、企業規模別に見ると、中小企業における情報セキュリティ対策の取組みは、大企業と比較して十分とは言えない。脆弱な情報セキュリティ対策の状況では、標的型攻撃の基盤として使われる懸念もあり、実際に事件・事故が多発している状況である。また、昨今、顧客から預かった大事な情報を、委託先の中小企業が漏えいしてしまう事故も発生していることから、中小企業の情報セキュリティレベルの向上を図ることが、我が国全体の情報セキュリティ水準の向上には必要不可欠である。

このような状況を踏まえ経済産業省からの委託を当協会が受け、独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、特定非営利活動法人ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、及び株式会社商工組合中央金庫の協力のもと、中小企業の経営者等に対して、情報セキュリティ対策に係る意識を高めてもらうことを目的とした中小企業情報セキュリティ対策促進事業を実施した。

この事業は5年度目の事業であり、本事業の主旨と4年間で実施した成果と課題を反映して、中小企業に対して、情報セキュリティ対策の必要性への気づきを与え、企業に応じた対策を行ってもらうことを目的とした事業となっている。地域ごとの指導的立場の人材が情報セキュリティ対策の重要性と具体的対応を中小企業の経営者に直接指導することが、適切な情報セキュリティ対策実施のためには必要であることから、特に今年度は、情報セキュリティ対策の計画から実行だけでなく、運用の現状チェックと対策の見直しに重点事項を絞ったセミナー内容とするとともに、講師としての伝える技術も向上させるプログラムとして検討し、指導者の育成を中心とする施策を次のとおり実施した。

【実施施策概要】

- ・ 全国の商工会議所の職員、商工会職員、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、EC 実践講師、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々（地場の情報セキュリティベンダーなど）を対象とした指導者向けの情報セキュリティ研修「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を開催し、それにより各商工会議所の職員、商工会・都道府県中央会関係者等は、情報セキュリティ対策に関する中小企業からの質問に対応できるようにする。
- ・ 日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ等のITの専門家は、研修を受講することにより、IT利活用の支援等を実施する際に、併せて情報セキュリティ対策の必要性について「気づき」をもたらし、中小企業の情報セキュリティ対策の適切な実施に導くことができるようにする。
- ・ さらに、受講者が地域で開催する講習会を支援することとし、セミナー教材や指導用ツールを無償で提供を行うとともに、「お近くの相談員」として、本促進事業ホームページに氏名を掲載する。
- ・ 今年度新規施策として、講師としての教える能力の向上を目指して「講師スキル養成講座」を実施し、各中小企業ごとに様々な知識レベルや対策の状況に応じて適切に指導できるようにする。
- ・ また、各商工会議所職員、商工会関係者、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々が、助言を求めることを可能とするコールセンターを、IPAの協力のもとに設置する。

【ワーキンググループによる実施内容検討】

本事業の実施にあたり、有識者及び当協会会員企業を参加メンバーとしたワーキンググループを設置し、セミナーの企画・演習資料などの教材検討、受講者集客や講習会の開催方法についての検討会を計4回実施した。

(ア) 検討会開催日時

- ・ 第1回会合 平成24年6月28日(木) 15時～16時30分
- ・ 第2回会合 平成24年8月23日(水) 15時～16時50分
- ・ 第3回会合 平成24年11月16日(金) 15時～16時30分
- ・ 第4回会合 平成25年3月14日(木) 13時～15時

(イ) ワーキンググループ参加メンバー

・ ワーキンググループリーダー

井上 陽一 NPO 日本ネットワークセキュリティ協会顧問・西日本支部長

・ ワーキンググループメンバー

石井 茂 独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター

高野 晶子 日本商工会議所 情報化推進部

青山 淳 全国商工会連合会 組織運営部 情報課

佐久間 一浩 全国中小企業団体中央会 事業推進部

小林 邦人 特定非営利活動法人 首都圏南西経営応援隊

渡部 章 (株)アークン 会長

加藤 雅彦 (株)インターネットイニシアティブ セキュリティ情報統括室

持田 啓司 (株)大塚商会 教育ビジネスプロモーション課

小屋 晋吾 トレンドマイクロ(株) 戦略企画室

嶋倉 文裕 富士通関西中部ネットテック(株) 第一ネットワーク部

高橋 正和 日本マイクロソフト(株) チーフセキュリティアドバイザー

西本 逸郎 (株)ラック 専務理事

守谷 学 経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室

加藤 耕三 経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室

第2章 指導者育成セミナー開催概要

概要:

中小企業の情報セキュリティ対策レベルの向上を図るためには、中小企業のホームページ作成やIT化の支援などを通じて、実際に中小企業のアドバイザー的な役割を担う人々に対して、情報セキュリティに関する知識習得の機会を提供し、中小企業の経営者などに対して、情報セキュリティ対策の必要性をアピールすることが重要であると考えます。

そのため、経済産業省とNPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は、2008年度から4年に渡り、地域での指導者育成を目的とした指導者育成セミナーを実施してきたが、今年度も本事業趣旨の基に地域での指導者育成セミナーを実施することとした。

対象者については商工会議所職員や商工会職員、都道府県中央会職員などの中小企業支援を業務等で行っている方々、ITコーディネータ資格保持者や中小企業診断士に加え、地場の情報セキュリティベンダーなど情報セキュリティを指導する立場にある方々もさらに参加を促し、多くの指導的立場にある方々に対して、情報セキュリティの知識習得と中小企業向け指導法習得を目的として2012年8月から翌1月末にかけて全国で23回開催した。

特に今年度は、情報セキュリティ対策の計画と実施だけでなく、実施している対策をチェックし、必要に応じて見直しができる人材の育成に重点を置き、演習を中心とした内容で企業の対策チェックや指導が体得できるプログラムとした。

期間 : 2012年8月～2013年1月

開催数 : 全国各地21都道府県にて23回開催

主催 : 経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会

後援 : 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、
NPO ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、
社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫、
開催地の商工会議所・県商工会連合会・NPO法人

定員 : 各会場50名～100名

参加対象 : 商工会議所関係者(商工会議所職員、日商マスター等)、商工会関係者、
中小企業団体中央会関係者、ITコーディネータ、EC実践講師、中小企業診断士、
その他中小企業を指導する立場にある人(地場の情報セキュリティベンダーなど)
ITコーディネータの受講者には、ITC協会後援セミナーとして受講修了証を発行し、6.5時間の知識ポイントを付与した。

第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
		会 場		
北海道	北海道 (札幌商工会議所)	10月12日(金)	62	18
		北海道経済センター		
北海道	(北海道中小企業団体中央会道南支部/函館商工会議所/北海道渡島管内商工会連合会/北海道檜山管内商工会連合会/ITC はこだて/はこだて IKA)	10月30日(火)	17	23
		函館商工会議所		
東北	宮城 (仙台商工会議所)	9月18日(火)	29	15
		仙台商工会議所		
東北	岩手 (岩手県商工会連合会)	12月6日(木)	17	30
		岩手県商工会連合会		
関東	茨城 (水戸商工会議所/茨城県商工会連合会/茨城県商工会議所連合会/NPO 法人 IT コーディネータ茨城/茨城県中小企業団体中央会/公益財団法人茨城県中小企業振興公社)	9月26日(水)	31	16
		水戸プリンスホテル		
	埼玉 (NPO 法人埼玉 IT コーディネータ/さいたま商工会議所/埼玉県商工会連合会/埼玉県中小企業団体中央会/社団法人埼玉県商工会議所連合会/財団法人埼玉県産業振興公社)	10月18日(木)	80	20
		大宮ソニックシティ		
	千葉 (柏商工会議所/NPO 法人ちば経営応援隊)	8月28日(火)	73	11
		柏商工会議所		
	東京 (東京商工会議所)	10月29日(月)	108	22
ベルサール八重洲				
東京 (東京商工会議所)	1月22日(火)	53	33	
	東京商工会議所			
長野 (一般財団法人塩尻振興公社/塩尻商工会議所)	11月22日(木)	19	28	
	塩尻インキュベーション プラザ			

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
中部	愛知 (名古屋商工会議所/一般社団法人中部産業連盟)	10月16日(火) ----- 中産連ビル	73	19
	岐阜 (大垣商工会議所/財団法人ソフトピアジャパン)	11月20日(火) ソフトピアジャパンセンター ビル	26	27
	三重 (三重県商工会連合会/三重県中小企業団体中央会/NPO 法人ITコーディネータ三重)	1月16日(水) ----- 三重県総合文化センター	22	32
	富山 (富山商工会議所/富山県中小企業団体中央会/社団法人富 山県情報産業協会/NPO法人ITコーディネータ富山/株式会 社富山県総合情報センター)	10月25日(木) ----- 富山県総合情報センター	33	21
	石川 (金沢商工会議所/石川県商工会連合会/NPO法人石川県 情報化支援協会)	11月9日(金) ----- 金沢商工会議所	21	26
	近畿	京都 (京都商工会議所)	12月13日(木) ----- 京都商工会議所	52
大阪 (大阪商工会議所)		9月11日(火) ----- 大阪商工会議所	101	14
奈良 (奈良商工会議所/奈良県中小企業診断士会/奈良県商工会 連合会)		11月6日(火) ----- 奈良商工会議所	33	25
中国	広島 (広島商工会議所/NPO法人ITコーディネータ広島)	9月7日(金) ----- 広島国際会議場	49	13
四国	愛媛 (松山商工会議所)	11月2日(金) ----- 松山市男女共同参画推進 センター	21	24
九州	福岡 (福岡商工会議所)	9月4日(火) ----- 福岡商工会議所	62	12
	宮崎 (宮崎商工会議所/宮崎県ソフトウェアセンター)	11月28日(水) ----- 宮崎商工会議所	19	29
沖縄	沖縄 (沖縄県商工会連合会/沖縄県商工会議所連合会/那覇商 工会議所/財団法人沖縄県産業振興公社)	10月2日(火) ----- 沖縄産業支援センター	27	17
		合 計	1,028	---

第4章 指導者育成セミナープログラム

中小企業が情報セキュリティ対策を行うにあたって、情報セキュリティ対策の計画と実施だけでなく、実施している対策をチェックし必要に応じて見直しができる人材の育成に重点を置き PDCA を意識して中小企業の指導ができる人材の育成に重きを置いたプログラムとした。

標的型攻撃やスマートデバイス、クラウドセキュリティといった注目される分野の最新情報や注意点などとともに、改訂したテキストのポイントを解説したうえで、演習を中心とした講習内容で、実際の業務の中でのチェックのポイントや見直しに関する指導が体得できる構成として、指導者として知っておかねばならないことを主な内容として実施した。

演習用のビデオについても、平成 22 年度に作成した演習ビデオ「フラワー通り会の7人の社長たち」の数年後をイメージした「フラワー通り会の7人の社長たち Part2」を作成し演習に活用。数年前に気づきを与えられた社長たちが、対策を行っていながらも、日々の業務に追われる中で形ばかりになったり、現実と合っていない運用である状況を描き、演習の中であらためて見直しを行い、新たな運用方針を考えるというプログラムとしている。中小企業の業務の中での PDCA を仮想体験することで、現場での経営者に対する指導を想定した臨場感を持った研修内容とした。

【タイムスケジュール】

午前	
9:30～9:50	【オリエンテーション】 ・1日の流れ・配布物の説明(事務局) ・経済産業省(地方産業局)挨拶
9:50～10:50	【情報セキュリティ重要ポイントの解説】 テキストにより、最新情報や最近の注意点など、時流に沿ったポイント解説を行う。
10:50～11:00	休憩
11:00～11:15	【日常業務上の運用チェック基本解説】 日常業務の中で事故発生危険性チェックや、計画や対策の段階にさかのぼって見直しをするためのPDCAを解説する。
11:15～12:15	【ビデオによる演習 情報セキュリティ対策の課題洗い出し】 いくつかの企業の業務風景のビデオを視聴し、PDCAを意識したリスク発見演習を行う。
12:15～13:15	昼食
午後	
13:15～13:45	【ビデオによる演習 情報セキュリティ対策の課題 発表】 各グループによるリスク及び対策案の発表。
13:45～15:35	【ビデオによる演習 課題の実施状況チェックと見直しの討議】 ビデオに出てくる課題のチェックや見直しの観点で討議する。
15:35～15:45	休憩
15:45～16:50	【ビデオによる演習 企業ごとのセキュリティ規則の見直し演習】 企業ごとのルールを、グループ討議により見直しを行う。
16:50～17:00	講師講評
17:00	セミナー終了

時間帯は開催地ごとの進行により若干変更している。

第5章 作成した教材のポイント

(ア) 指導用マニュアルおよび講習用テキストの主な改訂内容

数年に渡って新しい情報やデータを追記してきたテキストに関して、今年度出現してきた新たな情報を盛り込むとともに、同様内容は整理統合するなどしたうえで、講習の流れに沿って解説しやすく再編集を行った。主な改訂部分は次のとおりである。

リスクアセスメントを行う上での基礎知識を追加
企業経営における情報セキュリティ対策部分を改訂
メール利用に関する部分の整理統合
マルウェアに関する部分の整理統合
無線 LAN やモバイル、スマートデバイス等の内容の拡充
クラウドサービスの大幅拡充
オフィスセキュリティやソーシャルエンジニアリングに関する部分の整理統合
PDCA を重視した内容とするための点検と見直し部分の拡充

(イ) 演習用ビデオ教材「フラワー通里会の7人の社長たち Part2」の概要

平成 22 年度事業で作成した演習用ビデオ「フラワー通里会の 7 人の社長たち」の数年後の状況を描いた演習用ビデオとして「フラワー通里会の 7 人の社長たち Part2」を作成した。

構成は、数年前に情報セキュリティ対策の重要性の気づきを与えられた社長たちが、会員同士で対策を考え行っは来たが、日々の業務に追われる中で形式的な対策となっていたり、企業規模や業務内容などの現実と合っていない運用である状況をビデオで描き、中小企業の日々の業務の中で PDCA の重要性を仮想体験できるストーリーとした。このビデオを使って演習を行うことで、対策実施だけでなく、日々のチェックで見直しを行い、新たな運用方針を考える重要性を理解するとともに、現場での指導に活かせる内容とした。

【参考:主な配布資料(指導者として利用するもの)】

- ・ 指導用マニュアル(講師として使用)
- ・ 講習用テキスト(受講者用として配布する物)
- ・ フラワー通里会の7人の社長たち Part2(DVD)
- ・ IPA 「5分でできる! 中小企業のための情報セキュリティ自社診断」
- ・ IPA 情報セキュリティ対策の基礎知識(DVD)
- ・ IPA I Love スマホ生活 ルルとララの場合
- ・ IPA I Support チラシ
- ・ JNSA 理解度チェックサイト チラシ
- ・ 日本商工会議所 個人情報漏えい賠償責任保険制度

第6章 指導者育成セミナー参加者に対する支援策

(ア) 指導者登録した方の指導者としての紹介

全国各地で指導者として活動していただくためのお手伝いとして、本事業の公開 Web サイトにおいて指導者として掲載するほか、JNSA に対して各地域の企業や団体から指導者の相談があった際には紹介を行った。

(イ) 指導のための支援体制

登録指導者専用 Web サイトを設置し、講習テキストや説明用スライドなどの指導するためのツールを無償で提供した。

また、指導をする中で情報セキュリティの質問がある際には、IPA に相談窓口を設置し、その窓口で専門的な質問への回答を行った。

(ウ) 地域における講習会開催の推奨


地域において中小企業の経営層の方々に「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施できる方を募集し、開催のための支援を実施。

指導者としての経験を積み、技術的にも経験的にも地域で信頼される指導者となってもらう機会として推奨した。

(エ) 講師スキル養成講座の開催

今年度の新規施策として実施しましたが、講師としてより充実した指導を実施していただくための講座を開催した。技術や知識をそのまま伝えるだけでなく、中小企業の方々にもわかりやすい言葉に言い換えたり、受講者のレベルに合わせた伝え方ができるような、講師としてのスキルを養成する講座である。

第7章 各地の開催状況(開催日程順)

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（千葉） 開催報告書				
日時	2012年8月28日（火） 9：30～17：00			
場所	柏商工会議所 401・402会議室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	柏商工会議所、NPO法人ちば経営応援隊、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	勝見勉、山田英史		総参加者数	73名
セミナー参加者	ITコーディネータ	51名	商工会職員	0名
	中小企業診断士	11名	中央会職員	0名
	日商マスター	0名	商工中金職員	0名
	EC実践講師	0名	その他	20名
	商工会議所職員	0名		
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 守谷 学 JNSA 持田、林、小島、早川、菅原			6名
参加者の状況				
<p>今年度初回のセミナー開催であり、事前申込み95名のうち参加者が73名と首都圏にしては76.8%という非常に高い出席率であり、本セミナーに臨む真摯な態度と受講者の興味の高さが伺える。セミナー受講者の約半数が初めて参加の方であり、また、昨年度同様ITコーディネータの参加割合が高くなっているのは大都市圏開催の特徴でもある。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識向上はあまり感じないとの意見であった。情報漏えい事件が発生して世間で騒がれている間は話題に挙がるが、落ち着いてしまうとそれきりになるケースが多いとの感想である。ただし、会議所主催での情報セキュリティに関するセミナーは複数開催予定だそうで、会議所としては取り組みを強化している様子がうかがえる。</p>				
全体の考察				
<p>今年度初回の開催ということもあり、全体的な進行方法や時間配分に再考の余地がありアンケートでも指摘を受けてしまったところは反省点であった。ディスカッションに熱中して休憩時間が短くなってしまったグループもあり、今後の進行上の改善点としたい。</p> <p>ただ、ほとんどの参加者にテキスト・ビデオは活用できると答えていただくことができ、また、充実した内容であった、グループ演習が大変勉強になったという意見も多かった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（福岡）
開催報告書

日時	2012 年 9 月 4 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	福岡商工会議所 406・407 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	福岡商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	山田 英史	総参加者数	62 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	35 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	4 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	24 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 課長補佐 宮原泰宏 JNSA 林、小島、黒川、井上		5 名	

参加者の状況

今年度九州では福岡と宮崎のみの開催であるためか、昨年度よりも参加者が 10 名ほど増え、長崎県や熊本県など、今年度本セミナーを開催しない地域からの参加者も見られた。IT コーディネータの参加人数は昨年度同数なので、IT コーディネータ以外の方の参加が増えたようである。





開催地からのご意見


昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えているように感じるとのご意見を頂戴した。

全体の考察


参加者の半数程度が初めての参加であったが、グループディスカッションは初めから多くの意見が出されており、発表においても発表慣れしている参加者が多かった。情報セキュリティに関する業務に携わっている参加者も多かったようで、発表内容はよくまとまっており、単純な対策だけでなく、指導者として対象の中小企業に合わせた提案が多くされていた。

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 広島 ） 開催報告書				
日時	2012 年 9 月 7 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	広島国際会議場 中会議室コスモス			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	広島商工会議所、NPO 法人 IT コーディネータ広島、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	渡部 章		総参加者数	49 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	30 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	2 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	18 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	中国経済産業局 参事官（電子・情報産業担当）稲原 宏昭 JNSA 林、青木			3 名
参加者の状況				
<p>事前申込み 66 名中 49 名の出席と 74%の出席率であった。約半数が初めての参加者であり、今年度は中国地方では広島のみで開催となったため、山口県からの参加者も多かった。指導経験が有る方と無い方が約半々の参加であったが、ディスカッションでは活発な意見交換をしている様子が見受けられた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきた、また、情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業も増えてきたと感じているとの回答をいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>今年は会場が例年までの広島商工会議所から広島国際会議場へ会場を変えての開催となった。アンケートの自由意見では有意義であったという意見がほとんどであったが、個別の意見でテキストの重要ポイント解説時間が短い、時間配分の工夫が必要、セミナー時間が長い等の意見もいただいた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（大阪） 開催報告書				
日時	2012 年 9 月 11 日（火） 9：30～17：00			
場所	大阪商工会議所 地下1号会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大阪商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	長谷川 長一		総参加者数	101 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	74 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	20 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	3 名	その他	23 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課 大塚公彦 JNSA 林、持田、黒川、井上			5 名
参加者の状況				
<p>101名の参加となりグループ数も5～6名×18グループと過去に行ったセミナーの中でも最多の参加人数となった。セミナー初参加の方は30名とリピーターが多い会場であった。やはりITコーディネータの方の参加が多かったが、団体指導員や中央会職員の方などにもご参加いただくことができた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じない、取り組み始めている企業が増えているともあまり感じないとの回答であった。</p>				
全体の考察				
<p>100名を超える参加者となり、グループディスカッションでも各グループ活発に意見交換を行っている様子がうかがえた。人数が多いため進行上の工夫を行い時間内に終了したが、発表時間や討議時間が短くなったため参加者からは人数をもっと減らして2回に分けて開催して欲しいという御意見も頂戴した。複数回受講されている方からは、昨年度より内容がレベルアップして良かった、昨年より指導者向けの内容となっていて良かった、という声もあった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（宮城） 開催報告書				
日時	2012年9月18日（火） 9：30～17：00			
場所	仙台商工会議所 7階大会議室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	仙台商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	菊谷 広	総参加者数	29名	
セミナー参加者	ITコーディネータ	21名	商工会職員	0名
	中小企業診断士	1名	中央会職員	0名
	日商マスター	1名	商工中金職員	0名
	EC実践講師	1名	その他	5名
	商工会議所職員	0名		
主催者スタッフ	JNSA 林、持田、青木		3名	
参加者の状況				
<p>参加者は昨年とほぼ同人数となり、やはり東日本大震災以前と比べると参加者は減少傾向である。東北地区ではこの時点では宮城のみの開催予定であったため、他県から参加される方もいらっしまった。初めて参加される方は8名とリピーターが多く、顔見知りの方も比較的多くいらっしまったようであった。グループ数は5グループとなり、ディスカッションではグループ数が少ないこともあり発表に時間を多くとることができた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるという回答であった。ただし、情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業が増えているとはあまり感じないという意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>アンケート回答では参加人数が少なかったためか、他地域に較べると自由記述の記載は少なく、全体的におおむね好評な集計結果であった。指導者向けセミナーとしてもう少しレベルを上げて欲しいという意見もあったが、他地域では逆に昨年度よりレベルが上がったという意見もあり、難しいところである。</p> <p>セミナー終了時には参加者からの質問もあり、積極的な姿勢が伺えた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（茨城）
開催報告書

日時	2012 年 9 月 26 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	水戸プリンスホテル 2F 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	水戸商工会議所、茨城県商工会連合会、茨城県商工会議所連合会、 NPO 法人 IT コーディネータ茨城、茨城県中小企業団体中央会、 公益財団法人茨城県中小企業振興公社、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	本川 祐治	総参加者数	31 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	14 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	2 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	1 名	その他	16 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	JNSA 林、黒川		2 名	
参加者の状況				
<p>茨城県では初めてのセミナー開催であり、関係する 6 の地域後援団体に告知面で協力をしていた。初開催ということもあり、初めて参加される方が 22 名と多い割合であった。IT コーディネータは半数ほどだが、東京・大宮の参加受付を終了してしまったこともあり、千葉方面から参加される方もいらしたようである。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるが、対策に取り組み始めている企業が増えているとは感じないという回答であった。情報セキュリティに関するセミナーは、会議所主催では特に会員からの要求がないため開いていないということだが、今後の啓発に向けた活動の余地はありそうである。</p>				
全体の考察				
<p>アンケートでは、ほとんどの方からセミナー内容は役に立った、資料は活用できそうと答えていただいた。参加人数も少なく討議時間も十分とれたせいか、全体的に満足度は高かったようである。ぜひ来年度以降も継続してセミナーを開催していきたい。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 沖縄 ） 開催報告書				
日時	2012 年 10 月 2 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	沖縄産業支援センター 302・303 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会、 那覇商工会議所、財団法人沖縄県産業振興公社、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	長谷川 長一	総参加者数	27 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	10 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	0 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	17 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課 濱川 均 JNSA 青木、小島			3 名
参加者の状況				
<p>当日の欠席者が 15 名おり出席率は 64%と落ち込んだ。昨年度と比較すると参加人数は減少傾向であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識や取り組みは向上していると感じており、今後も継続して沖縄でのセミナー開催を希望しているのご意見を頂いた。</p>				
全体の考察				
<p>最初の座学から講師の説明を熱心に聞いていた。グループディスカッションでは、あまり激しい議論はなかったが、周りの意見をよく聞いてからまとめている様子だった。すべての演習において、一人で発表するなど、非常に積極的な参加者も見られた。</p> <p>最後の演習では、参加者の発表ばかりではなく、もっと講師のコメントを聞きたかったという意見もあり、別途フォローの資料を用意するなどの対応が考えられる。</p>				

**情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（北海道）
開催報告書**

日時	2012 年 10 月 12 日（金） 9：30～17：00			
場所	北海道経済センター Bホール 1号室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	札幌商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	本川 祐治	総参加者数	62 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	31 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	2 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	29 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	北海道経済産業局 地域経済部 情報政策課 高橋 育男 JNSA 林、持田、小島		4 名	

参加者の状況

セミナー参加が 2 回目以上の方が半数であり、3 回目以上の参加の方も 3 割程度おり、今年度も継続しての参加者が多く見られた。また、IT コーディネータの参加も約半数であった。昨年度とほぼ同数の参加人数であり、本セミナーも札幌で定着してきている様子がうかがえる。




開催地からのご意見


中小企業への所感についてはアンケートに記載いただけなかったが、会議所主催の情報セキュリティに関するセミナーは今年度 1～5 回程度開催予定とのことである。

全体の考察

参加者の半数程度が初めての参加であったが、グループディスカッションは初めから多くの意見が出されており、発表においても発表慣れしている参加者が多かった。情報セキュリティに関する業務に携わっている参加者も多かったようで、発表内容はよくまとまっており、単純な対策だけでなく、指導者として対象の中小企業に合わせた提案が多くされていた。

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（愛知） 開催報告書				
日時	2012 年 10 月 16 日（火） 9：30～17：00			
場所	中産連ビル 2C 集会室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	名古屋商工会議所、一般社団法人中部産業連盟、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	嶋倉 文裕	総参加者数	73 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	46 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	3 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	26 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	経済産業省 中部経済産業局 情報政策課長 杉山益美 JNSA 林、黒川			3 名
参加者の状況				
<p>総勢 73 名（内女性 5 名）の参加となり、14 グループとなった。初めてセミナーに参加した方は 33 名と昨年より割合が下がり、リピーターの方が増えていたようである。全体的に熱心な参加者が多かった。</p>				
開催地からのご意見				
担当者不在のためいただけず				
全体の考察				
<p>会場は和やかな雰囲気で行った。グループディスカッションが有益という意見がある判明、午前の進行を前倒しに進めたためか、アンケートでは「時間的に厳しかった」「段取りを工夫して欲しい」「進め方が早かった」という意見もいただいた。参加者が多いとどうしても発表に時間がかかってしまうが、発表は時間厳守でという意見が出る反面、実際に時間に厳しく進行するとアンケートで苦情が出てしまうなど、難しいところである。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 埼玉 ）				
開催報告書				
日時	2012 年 10 月 18 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	大宮ソニックシティ 906 研修室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	NPO 法人埼玉 IT コーディネータ、さいたま商工会議所、埼玉県商工会連合会 埼玉県中小企業団体中央会、社団法人埼玉県商工会議所連合会 財団法人埼玉県産業振興公社、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	大溝 裕則		総参加者数	80 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	59 名	商工会職員	2 名
	中小企業診断士	5 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	16 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	関東経済産業局 地域経済部 情報政策課 門田 かおり JNSA 林、菅原、青木			4 名
参加者の状況				
80 名中 IT コーディネータが 59 名と約 3/4 を占めていた。また、半分以上の方が初めての参加者であり、関東ということもあり、中小企業診断士や団体指導員など、指導者の参加が多かった。グループ数も 14 と多かったため、会場はかなり手狭な印象となった。				
開催地からのご意見				
前年度と比較して情報セキュリティにタイする中小企業の意識が向上しているとはあまり感じられないとの御意見であり、全体的に自社は関係無いと思っている企業が多いと感じられるようである。同様に、情報セキュリティに取り組み始めている企業が増えているともあまり感じられないとの意見であった。				
全体の考察				
なごやかな雰囲気で行われ、アンケートでも講師の話がわかりやすかった、また来年も参加したいという意見や前回のビデオよりもわかりやすいという意見も頂戴した。ただ、会場が手狭であったため参加者にとっては少々窮屈な中での受講となった。				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 富山 ） 開催報告書				
日時	2012 年 10 月 25 日（木） 9：30～17：00			
場所	富山県総合情報センター 1F セミナー室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、社団法人富山県情報産業協会 NPO 法人 IT コーディネータ富山、株式会社富山県総合情報センター、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	勝見 勉	総参加者数		33 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	21 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	1 名	中央会職員	2 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	11 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	JNSA 林、黒川			2 名
参加者の状況				
<p>33 名中、初参加が約半数、IT コーディネータが 2/3 であった。今年度は北陸では金沢での開催が決まっていたことや市内で行われる学会と日程が重なったためか、参加者は昨年よりも少し減少したが、グループ数が 6 となり進行にはちょうど良い数だった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年、一昨年は情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたとは「感じない」という回答であったが、今年度は「向上してきたと感じる」と回答されており、本事業の効果が多少なりとも表れてきているのであれば大変うれしいことである。中央会や信金などと連携して指導員を活用できれば良いとの御意見も頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午前中のタイムスケジュールは順調に進行したが、午後の解説部分に講師が時間をかけたため少し時間が押してしまったが、参加者の方々が発表を手際よく行われていたため、時間どおりに終了した。グループ数も講師が見て回るにはちょうどよく、参加者の方々も活発に意見交換を行っていた。アンケートでは、前回と内容が異なっており役に立った、参加して良かった、という好意的な意見が多かった。</p>				


**情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（東京）
開催報告書**


日時	2012 年 10 月 29 日（月） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	ベルサール八重洲 3F ROOM 2・3			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	東京商工会議所、独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	長谷川 長一	総参加者数	108 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	76 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	14 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	29 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 森 伸雄 JNSA 林、早川、黒川		4 名	
参加者の状況				
<p>参加者は 108 名と今年度の指導者育成セミナー最多の人数となった。IT コーディネータが大半であったが、中小企業診断士も 14 名と多く参加された。グループは 18 グループとグループ数が多かったため、演習 1 と 2 で半分のグループずつ発表する形をとった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたとは感じないという御意見であった。しかし、指導者的立場の人は十分にいるという回答で、これは東京という立地を考えるととってもな御意見だろう。また、セキュリティ対策については、初歩的な対策さえできていない企業とさらに高度な対策を検討したい企業の二極化状態にあり、受講者のレベルを出来る限りあわせて講義を行うなどの対策が必要との貴重なコメントもいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>アンケートの自由記述では役に立った、新たな発見があった、という意見が多かった反面、人数が多すぎるという意見や発表は全グループやらなくてもよいという意見もあった。グループ形式というセミナースタイルだと、グループ数が増えてしまうと発表に時間がかかり、また討議もやりにくくなるというデメリットがある。今後は 2 回の開催に分けるなど検討が必要と思われる。</p>				


**情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（北海道）
開催報告書**


日時	2012 年 10 月 30 日（火） 9：30～17：00			
場所	函館商工会議所 1・2 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	北海道中小企業団体中央会道南支部、函館商工会議所、北海道渡島管内商工会連合会、北海道檜山管内商工会連合会、ITC はこだて、はこだて IKA、独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	富田 一成	総参加者数	17 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	3 名	商工会職員	6 名
	中小企業診断士	0 名	中央会職員	1 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	6 名
	商工会議所職員	1 名		
主催者スタッフ	経済産業省 北海道経済産業局 地域経済部 情報政策課 高橋 育男 JNSA 持田、林、小島		4 名	
参加者の状況				
<p>函館では一昨年から 2 回目の開催となる。過去のセミナーに参加したことのある方は数人で、ほとんどの方が初めての参加であった。また、他の会場と比較して、商工会関係の参加者の方が多く見られた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識や取り組みは向上していると感じており、情報セキュリティに関するセミナーも年間数回開催しているとのことだった。</p>				
全体の考察				
<p>セミナー開始前から多くの参加者間で会話する姿が見られ、セミナー参加前から面識がある参加者が多かったのではないかと考えられる。グループディスカッションに関しては、少々控え目な様子が見られたが、グループごとの発表に関しては、積極的にグループの意見を発表していた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（愛媛） 開催報告書				
日時	2012 年 11 月 2 日（金） 9：30～17：00			
場所	松山市男女共同参画推進センター 第5会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	松山商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	小柴 宏記		総参加者数	21 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	9 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	0 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	10 名
	商工会議所職員	2 名		
主催者スタッフ	JNSA 井上、青木、小島			3 名
参加者の状況				
<p>松山では本事業開始以来 2 回目の開催となる。7 割の参加者が本セミナー初めての参加者であり、5 割の参加者がセミナー等での指導経験のある参加者であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>中小企業の情報セキュリティに対する意識や取り組みはまだ足りないと感じており、地域の指導者的立場の人材も人数が少ないように思う、というご意見を頂いた。</p>				
全体の考察				
<p>ビデオ演習のグループディスカッションでは、検討の対象となる企業全体が考慮されており、映像に映らない部分も良く検討されていた。また、グループ発表においては、発表慣れした参加者が多く見られ、他のグループの発表に対してコメントやアドバイス等が多くなされた。</p> <p>テキストを用いた情報セキュリティ重要ポイント解説では、初めての参加者において、もう少し指導方法に関する講義の時間が必要であるとのこと指摘があった。そのため、昨年度以前の講義資料等をあらかじめ紹介し、必要があれば後日それらを参考にさせていただくといったことも検討する必要があると考えられる。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（奈良） 開催報告書				
日時	2012 年 11 月 6 日（火） 9：30～17：00			
場所	奈良商工会議所 4F 中ホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	奈良商工会議所、奈良県中小企業診断士会、奈良県商工会連合会、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	山田 英史		総参加者数	33 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	18 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	3 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	1 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	1 名	その他	15 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部情報政策課 大塚公彦 JNSA 井上、林、小島			4 名
参加者の状況				
<p>奈良県では初めてのセミナー開催である。奈良県在住者以外にも大阪や京都から参加している方も多くみられた。6 割の参加者が本セミナー初めての参加者であり、約半数の方が IT コーディネーターであった。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識は高まっているものの、取り組みは足りないと感じており、指導者的立場の人材の不足もあり、情報セキュリティに関するセミナーは開催されていないとのことだった。</p>				
全体の考察				
<p>ビデオ演習のグループディスカッションでは、進行が早く、グループ内での意見交換も活発にされており、昼の休憩時間になってもディスカッションをしているグループが見られた。グループ発表は、グループの意見が良く整理され、非常に聞きやすい発表であった。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（石川） 開催報告書				
日時	2012 年 11 月 9 日（金） 9：30～17：00			
場所	金沢商工会議所 2階第1集会室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	金沢商工会議所、石川県商工会連合会、NPO 法人石川県情報化支援協会、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	小柴 宏記		総参加者数	21 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	15 名	商工会職員	1 名
	中小企業診断士	0 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	5 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
<p>石川県では初めてのセミナー開催であった。5割の参加者が本セミナー初めての参加者であり、3割の参加者がセミナー等での指導経験のある参加者であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上していると感じており、情報セキュリティに関するセミナーも年間数回開催を予定。会員ニーズとして情報セキュリティ対策の重要性を PR していきたい、とご意見を頂いた。</p>				
全体の考察				
<p>ビデオ演習のグループディスカッションでは、検討の対象となる企業規模を考慮に入れた意見が交わされていた。グループ発表での発表以外に、参加者個人の挙手による積極的な発言も見られた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（岐阜） 開催報告書				
日時	2012年11月20日（火）9：30～17：00			
場所	ソフトピアジャパンセンタービル 中会議室1			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大垣商工会議所、財団法人ソフトピアジャパン、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	小柴 宏記		総参加者数	26名
セミナー参加者	ITコーディネータ	16名	商工会職員	0名
	中小企業診断士	1名	中央会職員	0名
	日商マスター	0名	商工中金職員	0名
	EC実践講師	0名	その他	9名
	商工会議所職員	0名		
主催者スタッフ	JNSA 井上、青木、小島			3名
参加者の状況				
5割の参加者が本セミナー初めての参加者であり、3割の参加者がセミナー等での指導経験のある参加者であった。				
開催地からのご意見				
以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上しているが、実際の取り組みまでは至っていないと感じている。情報セキュリティに関するセミナーは年間数回開催しているとのことだった。				
全体の考察				
テキストを用いた座学講義では、情報セキュリティに関する最新の事例やデータに関する質問がいくつかあり、新しい情報に対する関心の高さが見られた。ビデオ演習のグループディスカッションでは、検討の対象となる中小企業の視点からの意見が多く出され、技術だけでなく運用に関しても検討がされていた。				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（長野） 開催報告書				
日時	2012 年 11 月 22 日（木） 9：30～17：00			
場所	塩尻インキュベーションプラザ 産学連携研修室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	一般財団法人塩尻振興公社、塩尻商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	大財 健治		総参加者数	19 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	9 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	1 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	10 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
5 割の参加者が本セミナー初めての参加者であり、7 割の参加者がセミナー等での指導経験のある参加者であった。				
開催地からのご意見				
以前と比較しても、中小企業の情報セキュリティに対する意識や取り組みの向上はあまり感じておらず、情報セキュリティに関するセミナーも開催されていないとのことだった。				
全体の考察				
ビデオ演習のグループディスカッションでは、どのグループも進行役の参加者を中心にスムーズにグループの意見をまとめていた。グループ発表では、どのグループも良く整理され、発表慣れしている様子が見られた。				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（宮崎） 開催報告書				
日時	2012年11月28日（水）9：30～17：00			
場所	宮崎商工会議所 大会議室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	宮崎商工会議所、宮崎県ソフトウェアセンター、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	西本 逸郎		総参加者数	19名
セミナー参加者	ITコーディネータ	11名	商工会職員	0名
	中小企業診断士	0名	中央会職員	1名
	日商マスター	0名	商工中金職員	0名
	EC実践講師	0名	その他	5名
	商工会議所職員	2名		
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2名
参加者の状況				
<p>宮崎では昨年度に引き続き2回目の開催である。6割の参加者が本セミナー初めての参加者であり、3割の参加者がセミナー等での指導経験のある参加者であった。九州南部では宮崎のみの開催であったため、大分や鹿児島から参加されている方もいた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識や取り組みは向上しており、指導者的立場の人材も十分ではないがいるとのことだった。また、情報セキュリティに関するセミナーも年間数回開催しており、意識の高い地域と言える。</p>				
全体の考察				
<p>ビデオ演習のグループディスカッションでは、休憩時間中にもディスカッションをそのまま続けるなど、一生懸命取り組んでいる姿勢が見られた。また、ビデオ演習に関連した質問を講師にしている参加者もあり、この機会を積極的に利用して学ぼうという参加者が多く見られた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（岩手） 開催報告書				
日時	2012 年 12 月 6 日（木） 9：30～17：00			
場所	岩手県商工会連合会 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	岩手県商工会連合会、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	菊谷 広	総参加者数	17 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	3 名	商工会職員	1 名
	中小企業診断士	1 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	12 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	JNSA 黒川、小島			2 名
参加者の状況				
<p>岩手県では初めてのセミナー開催であったため、ほとんどの参加者が本セミナー初めての参加者であり、情報セキュリティに関する指導経験のある参加者もあまりいなかった。IT コーディネータは 3 名と少なかった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識や取り組みは向上しており、情報セキュリティに関するセミナーも年間数回開催されている。</p>				
全体の考察				
<p>参加者は 17 名と少なく、情報セキュリティに関する指導や学習を経験した方も少なかったため、他の会場と比較してテキストを用いた座学講習が長く行われた。ビデオ演習では、座学講習であらかじめ該当部分についての詳細な説明があったため、それぞれのグループで活発に議論している様子が見られた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（京都） 開催報告書				
日時	2012 年 12 月 13 日（木） 10 : 00 ~ 17 : 00			
場所	京都商工会議所 2 階教室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	京都商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	嶋倉 文裕	総参加者数	52 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	15 名	商工会職員	2 名
	中小企業診断士	2 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	25 名
	商工会議所職員	8 名		
主催者スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部情報政策課 大塚公彦 JNSA 林、持田、井上、青木			5 名
参加者の状況				
<p>事前参加申込み 75 名中 52 名の参加であり、グループ数は 9 グループでの開催となった。参加者全体に対する IT コーディネータの人数は他の会場より比率が低く（3 割弱）商工会議所職員の方や一般企業の方などにも多くご参加いただくことができた。</p> 				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して、情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上や、取り組み始めている企業数の増加もあまり感じないとの回答であったが、「多くの中小事業所でも必要性は感じているようだが、手間や費用などの関係で、なかなか手が付けられないのが現状だと思う。」とのご意見をいただいた。また、本セミナーについては、是非継続的に実施頂ければ有難いとお言葉もいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>京都会場は他会場よりも開始が 30 分遅いため解説に割ける時間が少なく、参加者からは「もう少し時間を割いてもいいかと感じた。」という意見が出る一方で「セキュリティの重要性が理解できた。」「実践的に検討できた。」などの高評価もいただいた。</p> <p>意識の高い参加者も多く、「より技術的なお話も頂きたい」「もう少し深く説明を聞きたかった」というご希望や「演習はかなり効果的であり、グループディスカッションでは自分が見えていない部分について、他の方の意見でかなり参考になった。」という意見をいただいた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（三重） 開催報告書				
日時	2013 年 1 月 16 日（水） 9：30～17：00			
場所	三重県総合文化センター 大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	三重県商工会連合会、三重県中小企業団体中央会、NPO 法人 IT コーディネータ三重、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	大財 健治		総参加者数	22 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	10 名	商工会職員	3 名
	中小企業診断士	2 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	1 名	その他	8 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	JNSA 井上、林、小島			3 名
参加者の状況				
<p>参加者のうち7割が本セミナー初めての参加者であり、残りの3割の参加者が3回目以上の参加者であった。また、他の会場と比較して、女性の参加者の割合が多かった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきた、取り組み始めている企業も増加したと感ずるという御意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>三重県では本事業始まって以来初めての開催であった。本セミナーが3回目以上となる方が全体の3割程度居たため、グループディスカッションでは率先して意見を出すことで、どのグループも活発な議論が行われていた。グループ発表においても他のグループの発表を良く聞いており、挙手をしてのコメントも多く聞かれた。</p> <p>テキストを用いた座学講習では、初めての参加者と3回目以上の参加者との間で理解度に差があったため、講義のペースが早いと感じる参加者も居た。セミナー参加者に関しては事前にテキストを確認してもらえよう、限定的に公開するなど検討していく必要がある。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（東京） 開催報告書				
日時	2013 年 1 月 22 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	東京商工会議所 特別会議室 A・B			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	東京商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	勝見 勉		総参加者数	53 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	49 名	商工会職員	0 名
	中小企業診断士	5 名	中央会職員	0 名
	日商マスター	0 名	商工中金職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	3 名
	商工会議所職員	0 名		
主催者スタッフ	JNSA 井上、林、早川、持田			4 名
参加者の状況				
<p>参加申込みは 132 名と早々に事前申込みを締め切っていたが、実際の参加者は 53 名であり出席率は 40%と落ち込んだ。出席者の大多数が IT コーディネータであったが、約半数の方が初参加であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたとは感じないという御意見であった。しかし、指導者的立場の人は十分にいるという回答で、これは東京という立地を考えるともっともな御意見だろう。また、セキュリティ対策については、初歩的な対策さえできていない企業とさらに高度な対策を検討したい企業の二極化状態にあり、受講者のレベルを出来る限りあわせて講義を行うなどの対策が必要との貴重なコメントもいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>東京会場はほとんどが企業所属の IT コーディネータであったため、ディスカッションなどもスムーズに進めていたようだ。アンケートでは、全体的には好意的な評価が多かったが、各演習に対しては主に進め方や方法についての意見も挙がっていた。今回は開催時期が 1 月と離れたためもあると思われるが、当日の欠席が大変多かった。「東京開催はすぐに定員になってしまい参加できない」という苦情もいただいているので、当日の欠席を減らすような工夫も今後の検討課題と思われる。</p>				

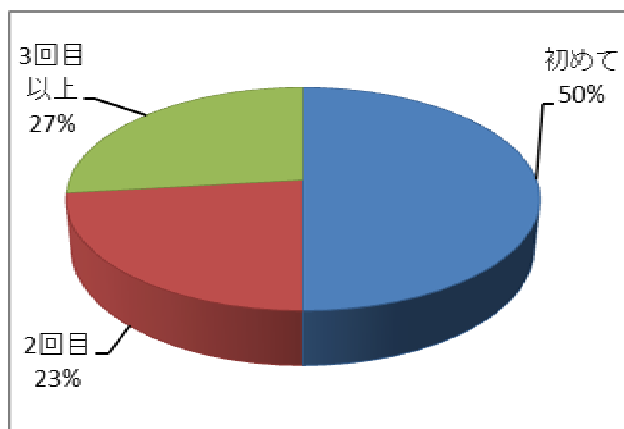
第8章 指導者育成セミナー実施状況

セミナー参加者に対して受講後アンケートを行い 995 名分を回収し、今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。参加の状況及び、受講をした感想について集計し、実施効果の把握とともに今後の課題などについて分析を行った。

今年度は、23 会場で 1,502 名申込みがあり、そのうち 1,028 名の参加(出席率 71.5%)となった。前年度は、27 会場で 1,762 名が申込み、うち 1,202 名参加であり、前年度に比べて参加者数は少なくなったものの、1 会場当りの平均参加者数は 44.7 名と前年(44.5 名)よりも向上。申し込みからの出席率も 71.5%(前年 70.4%)と、僅かではあるが効率的な運営を行うことができた。

(ア) 過去のセミナー参加状況

回答項目	回答数
初めて	482
2 回目	223
3 回目以上	259
合計	964

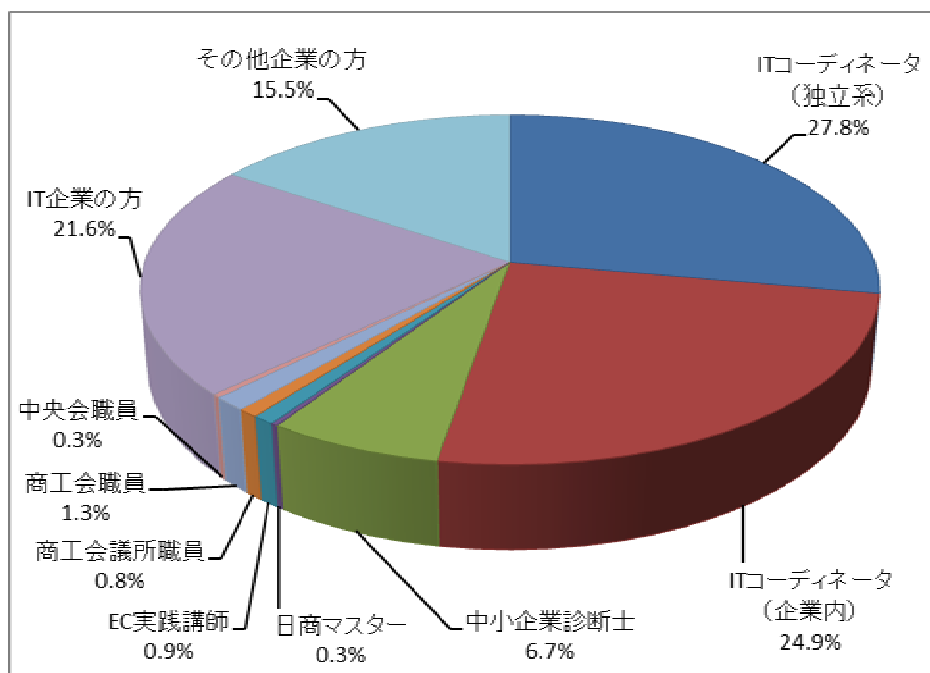


「過去にも参加」が座学・演習併用形式を採用した 2009 年度から継続して増加傾向にあり、今年度はさらに前年度 40%から 50%増加。特に毎年のセミナープログラム検討に当たっては、過去参加者が受講しても退屈しない内容になるよう変更しており、指導力アップを期待する過去のセミナー参加者による座学・演習併用形式の評価が更に浸透し、地域での口コミ等も奏功した結果によるものと思われる。

(イ) 参加者の立場

回答項目	回答数
ITコーディネータ(独立系)	326
ITコーディネータ(企業内)	291
中小企業診断士	78
日商マスター	3
EC実践講師	10
商工会議所職員	9
商工会職員	15
中央会職員	4
商工中金職員	0
IT企業の方	253
その他企業の方	182
合計	1,171

複数回答があるため合計は参考値



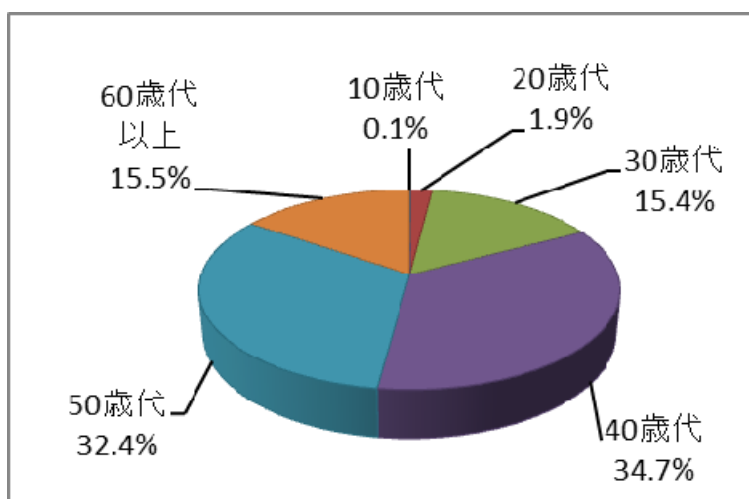
前年度までと同じく、商工会議所、商工会職員及びITコーディネータなど、地域でIT化を支援している人材に参加してもらうことを想定して開催した。実際の参加状況は、ITコーディネータの参加が5割以上、中小企業診断士が7%と、例年と同様の傾向で参加をいただいた。

課題は、未だ受講されていないITコーディネータ等への参加推奨と、商工会議所等職員の参加であろう。それぞれ保有スキルや日常での活動内容が異なるため、セミナープログラムや事後のフォロー方法の検討を考える必要がある。

なお、セミナー受講後の地域での講習会は、独立系の IT コーディネータの開催が多いことから、今年から独立系 ITC と企業内 ITC を分析できるようにした。今後毎年把握し、活動傾向の参考にしたい。

(ウ) 参加者の年代

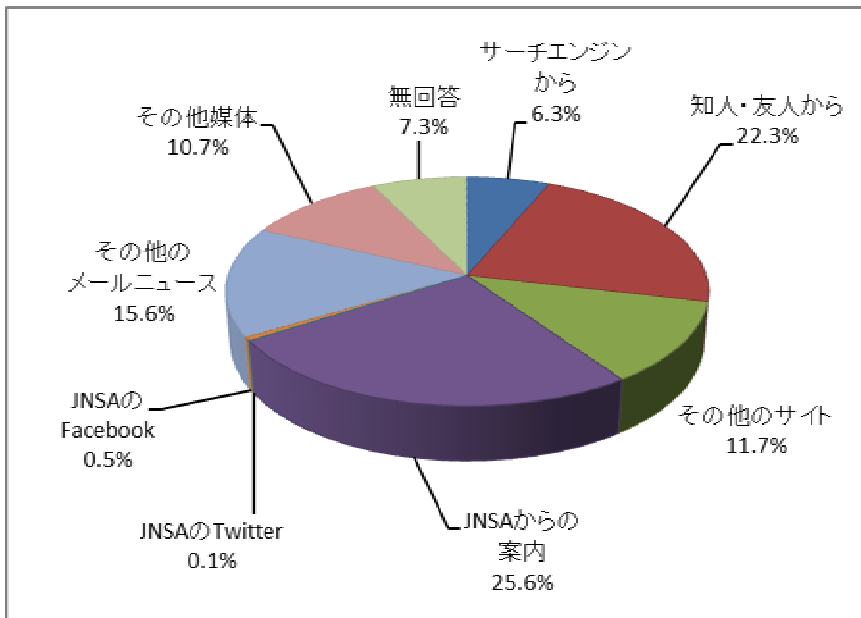
回答項目	回答数
10 歳代	1
20 歳代	18
30 歳代	149
40 歳代	336
50 歳代	313
60 歳代以上	150
合計(回答数)	967



参加者の年齢層は、ほぼ例年と同様の傾向となっている。40 歳代が 35%と一番多く、次に 50 歳代の 32%と、40・50 歳代で 70%近くを占めている。また、30 歳代も 15%が参加しており、幅広い年代層の参加があったともいえるが、地域での指導的役割を考えた場合に、参加者の地域での活動影響度や立場との相関などを考察し、指導者に必要な人材の発掘と育成をさらに検討する必要がある。

(工) セミナーを知ったきっかけ

回答項目	回答数
サーチエンジンから	68
知人・友人から	239
その他のサイト	125
JNSA からの案内	274
JNSA の Twitter	1
JNSA の Facebook	5
その他のメールニュース	167
其他媒体	115
無回答	78
合計	1,072



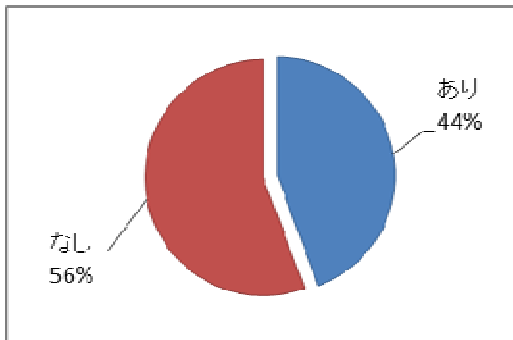
前年同様、JNSA 等からのメールによる案内とホームページ閲覧が多いが、特に今年度は友人・知人からの紹介の比率が高くなっている。メールでお知らせを行うことで、ホームページに誘導したり、地域団体で協力し合い各ホームページでの相互リンクを行うなどの集客方法が、参加者の層を考えた場合には効果が高いと考えられ、同様内容のセミナーでの有効な集客手段といえる。

今年度からは JNSA が運営している Twitter や Facebook の活用も一部行ったが、集客に影響を与えるほどの変化は見られなかったが、SNS はマーケティングツールとしての活用検討が進んでいることから次回開催時にも活用して行くべきであろう。

(オ) 過去に指導した経験

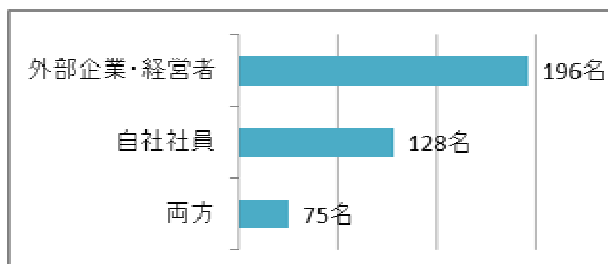
指導経験の有無

回答項目	回答数
あり (次設問に内訳)	426
なし	537
合計	963



経験ありと回答した方の実施対象者別内訳

回答項目	回答数
外部企業・経営者	196
自社社員	128
両方	75
合計	399



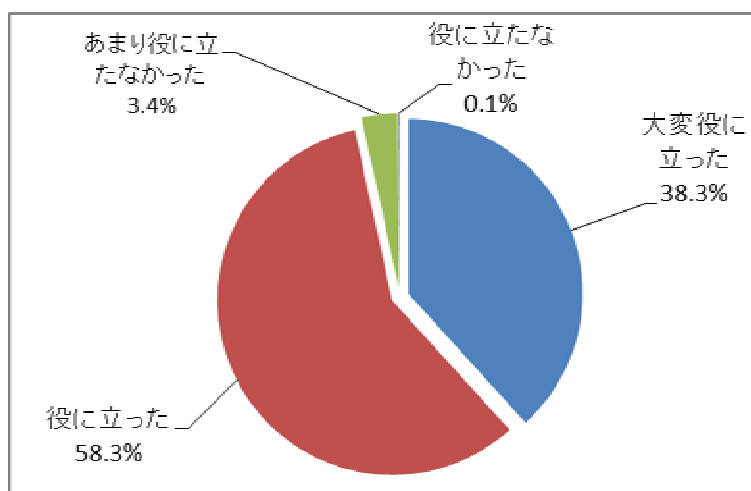
指導経験は44%があると回答し、なおかつ外部の方向けに実施した経験者は271名。全アンケート回答者の28%であった。社内向けに行う場合と外部の方に行う場合で、実施する内容については大きな違いはないものの、指導側と受講側で共有している情報が少ない外部の方向けの講習等では、受講する側の立場に立って講習をしたり、補足説明を行う必要が出てくる。このような背景から、今年度開催した講師スキル養成講座までの内容は必要なくとも、受講者の目線で指導する際の講師としての注意点なども学ぶ機会を作るべきなのかもしれない。

(カ) セミナー内容

ここからの設問については、セミナーの中でのそれぞれの講習内容や演習プログラムが、中小企業の指導の観点で利用できそうかについて調査した。

情報セキュリティ重要ポイント解説

回答項目	回答数
大変役に立った	377
役に立った	574
あまり役に立たなかった	33
役に立たなかった	1
合計	985



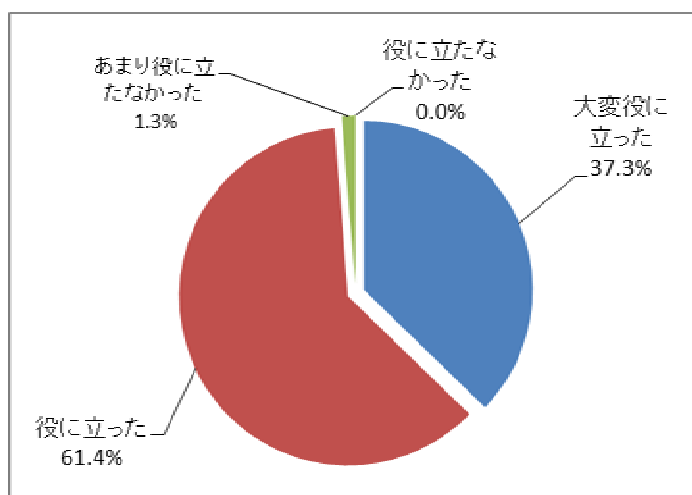
今年度は、テキスト改訂は構成変更が主であることから、改訂のポイントと最近のキーワード部分の事件事例の紹介などを行った。おおむね高評価であったが、時間に対して内容が多かったため、同じ時間数であれば内容を絞るか、逆に時間を増やすなどしたほうが良いとの意見があった。ある程度基礎的な知識を持っていることを前提にしていることから、テキスト内容ではなく、最近のトレンドの解説だけに絞ったり、事件事例の紹介だけにする。あるいは、テキストの説明の仕方を紹介するなど、工夫する余地があるだろう。

【意見抜粋】

- ・ リピーター向けに、新規追加項目は指導者用テキストの目次部分に new マークなどがあればいいと思う。
- ・ 特に重要な部分や新しい技術の脆弱性など、あるいはスマホ、タブレット、リモートアクセスなど、最新のトレンド情報について、もう少し詳しく解説して頂きたかった。
- ・ ポイント説明された部分も資料化して配布して欲しい。
- ・ テキストの説明では、抜粋での説明にするのであれば「要約版」があれば良い。
- ・ テキストに書いてあるトピックはトピックの使い方、テキストと絡めて説明するためのポイントなど、記載されている情報の伝え方を教えてもらえると良かった。
- ・ ビデオによる指導例があると、参加者の理解がより深まると思われる。

ビデオによる演習 「情報セキュリティ対策の課題洗い出し」

回答項目	回答数
大変役に立った	369
役に立った	608
あまり役に立たなかった	13
役に立たなかった	0
合計	990



今回の演習タイムスケジュールは、目的別に3フェーズに分けて実施した。まず最初の演習では対策上の課題の洗い出しを実施。業務の中に潜んでいるリスクの洗い出しを行うことで、初めて参加した方はリスクアセスメントの基本部分を学習。2回目以降の方にはその復習という意味で実施した。

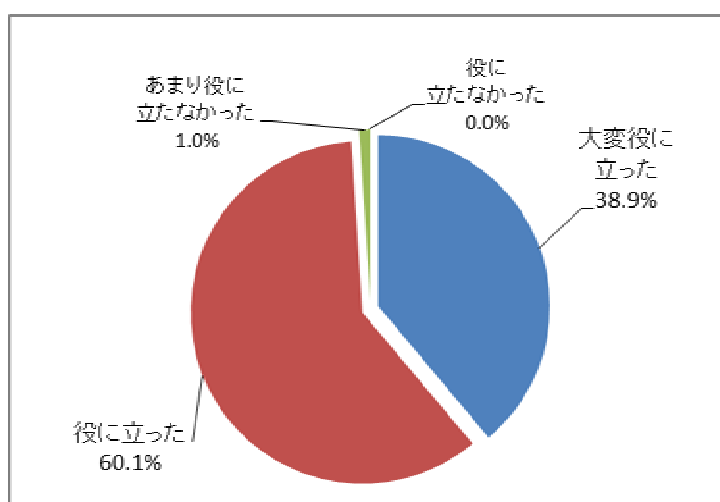
対策を行う上での基本となる部分であり、経験者も多いことから演習はおおむねスムーズに進んだ。

【意見抜粋】

- ・ 理解しているつもりでも、改めて他メンバーの意見を聴くことで、異なる観点で視ることができた。
- ・ 第三者の視点で俯瞰的にみるのにいい内容だった。
- ・ 短時間でアセスメント、チェック、(PDCA)の回し方が理解できた。具体的な背景や事象がないので、進め方が非常によく理解できた。
- ・ ビデオについては好事例も合わせて作っていただけると良いと思う。
- ・ 登場する企業が多く問題点がばやけてしまいがちだったので、対象は1社にしたり、演習で検討する範囲やゴールを明確にしてから行うと良いと思う。
- ・ 時間の都合もあるが、どこに問題があり、なぜそれが問題なのかをもっと討議に入れてもいい。

ビデオによる演習 「課題の実施状況チェックと見直しの討議」

回答項目	回答数
大変役に立った	386
役に立った	596
あまり役に立たなかった	10
役に立たなかった	0
合計	992



演習の第2フェーズとしては、課題に対して行っている対策の日常点検と見直しに関する演習を行った。対策で行っているチェックやルールへの運用を確認し、現実的ではないルールや、形骸化したチェックがないかを確認し、見直しが必要な部分の検討を行うことで、PDCAのC・Aを意識する必要性を学んでもらった。

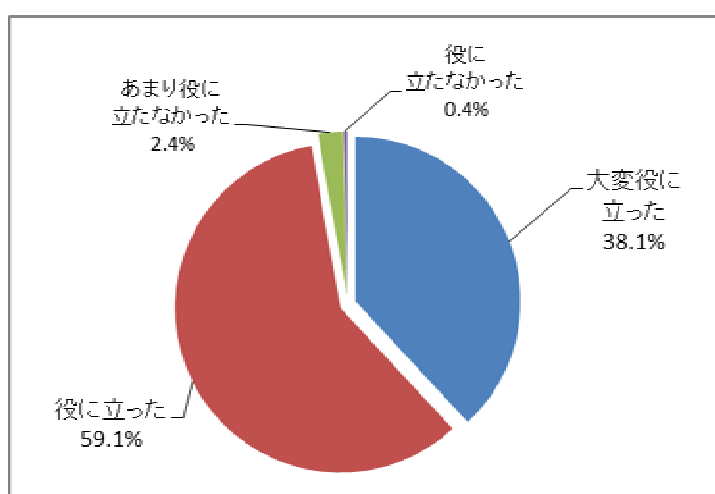
演習の方法自体は課題の洗い出しと同様であるため、おおむねスムーズに進んだが、実施している対策のチェックや見直しをことさら意識せずに行った場合には、「最初の課題洗い出しの演習との違いが分からない」といった意見も聞かれたことから、PDCAの中でのC・Aでは何を行うべきかの事前説明をどのように行うかの検討が必要であろう。

【意見抜粋】

- ・ 演習 の続きとなっていて、一連の流れで分かり易かった。
- ・ 要因を入れる事でチェックを俯瞰的に見る方法が良かった。
- ・ いろいろな項目及びPDCA、要因の理解を深めることができた。
- ・ 有効性を阻害する要因は中小企業向けに適用するには難しい気がする。
- ・ 事象と改善策に気をとられ、阻害する要因の討議が不足になりがちとなった。

ビデオによる演習 「企業ごとのセキュリティ規則の見直し演習」

回答項目	回答数
大変役に立った	365
役に立った	566
あまり役に立たなかった	23
役に立たなかった	4
合計	958



演習の最後のフェーズとして、日常点検と見直し必要項目を基にして、各社がルール代わりとしている 10 則の見直しを行った。役に立ったという意見が多く、特にルールや対策を日常業務の中で見直しを行うことはほとんどないため、非常に参考になったという意見が多く書かれていた。

ある程度 PDCA を行う上での事前知識は必要という意見もあったが、演習に入る前の「日常業務上の運用チェック基本解説」をきちんと説明したうえで演習に入れば、各演習の目的も分かりやすかったかもしれない。

また、発表に当たっては、発表するグループが対象企業のコンサルティングを行い、改善提案を行うという設定で行っていただいたが、強く意識して実施した場合ほど、真剣に演習に取り組みがなされ、「もっと時間が欲しい」、「企業の背景や設定状況を詳しく知りたい」、「見直しの視点や基準を明確にしたい」といった積極的な意見や要望が多く出てきた。

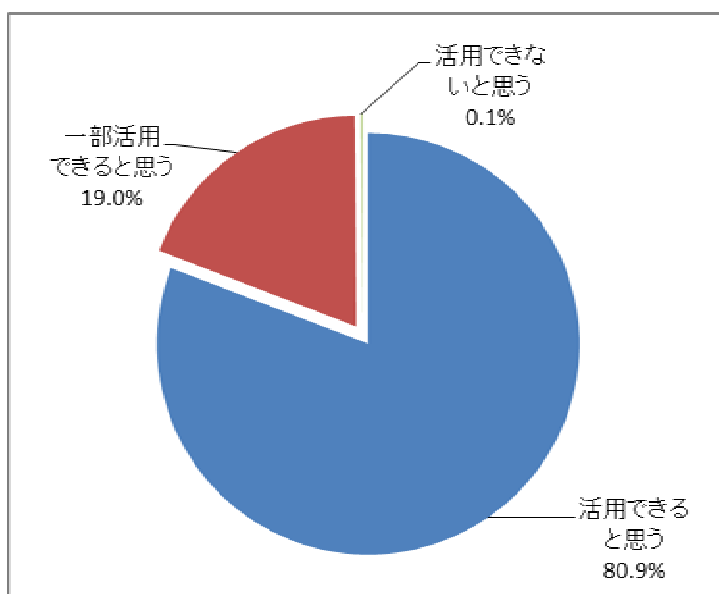
【意見抜粋】

- ・ ディスカッションを行うことで、お客様に提案するためにアウトプットをどうまとめるかには、いろんな考え方があるということがわかって勉強になった。
- ・ 演習 からの流れで最後の演習を行ったので、「モニタリング」の必要性について分かり易かった。
- ・ QCD とリスク企業文化から、注目するポイントを挙げるという考えができた。
- ・ 「守れるルール」が大事ということを改めて認識した。
- ・ 中小企業向けでセミナーを開催すると、情報セキュリティのルール化が全くされていない企業が多いと感じており、見直しを行うのはまだまだ先だと思うが、他社のルールをそのまま適用するのは無理があるというシナリオは見えそうに感じた。
- ・ セキュリティ管理に関する意識を高める為に役立つ研修方式になっていると感じました。
- ・ 今回初めて「指導する要点をまとめる」ワーキングはすごく参考になりました。
- ・ 演習対象となっていない企業である他グループの発表を聞いても理解し難いため、演習は1社の事例を全グループでやった方が良いのではないかと思った。
- ・ 改訂事例をもとに考え方と会社毎の運用できる実情に合わせた3か年レベルの展開等を作るなど、3パターン程度の事例から分析してはどうか。

(キ) 使用教材や今後の指導

テキストは今後の指導において活用できそうか

回答項目	回答数
活用できると思う	790
一部活用できると思う	186
活用できないと思う	1
合計	977

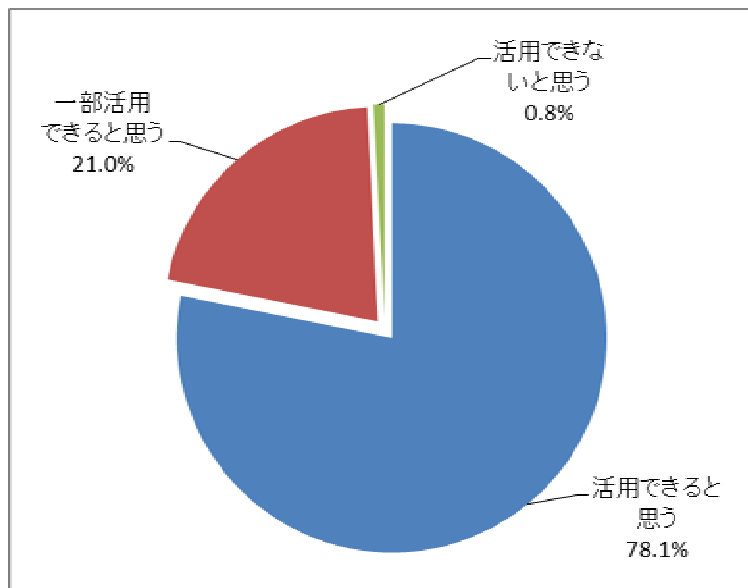


テキストの活用可能性を確認したところ、「活用できると思う」(80.9%)、「一部活用できると思う」(19.0%)と、ほとんどの方に支持を得た。最新データやスマートデバイス・クラウドといったこれから注目されるIT利用に関する情報が、講師としてのトピックスも含めて掲載してあることで、中小企業を指導することが多い経験者ほど使いやすいと感じてもらっている。

一方で、「ボリュームが多すぎてすべてを説明できない」、「中小企業の社長には説明しても分からない」、といった意見もあるが、指導経験者の意見か、未経験者の意見かを分析する必要もあるため、別途行ってもらう地域での講習会の意見を踏まえて改訂等を検討したい。

演習用ビデオは今後の指導において活用できそうか

回答項目	回答数
活用できると思う	758
一部活用できると思う	204
活用できないと思う	8
合計	970



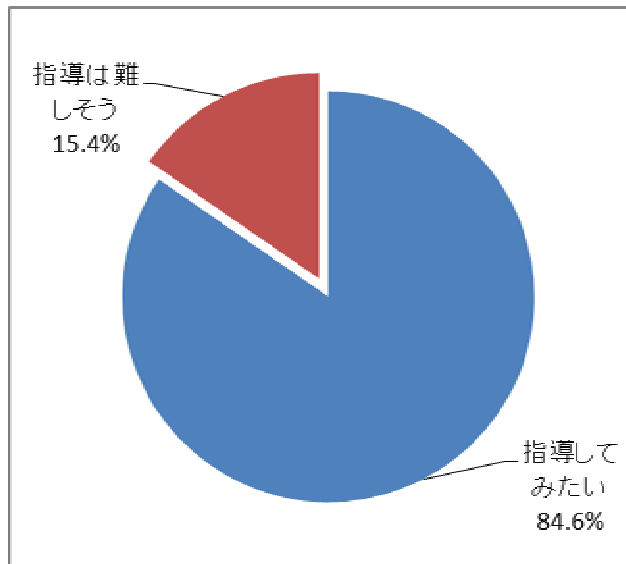
演習用ビデオの活用可能性を確認したところ、「活用できると思う」(78.1%)、「一部活用できると思う」(21.0%)と、ほとんどの方に支持を得た。今回は2年前に作成した「フラワー通り会の7人の社長たち」の続編として制作したが、回想シーンを取り入れるなどして今回初めて視聴しても理解しやすいようにしたつもりである。

活用できそうだという方の意見としては、「対策が進んでいない小規模の会社でもイメージしやすい」、「身近な話題が取り上げてあり、見てもらうだけで興味を持ってもらえそうだ」という意見が多く聞かれた。

活用が難しそうだという懸念点の記載もあり「経営層との面談は時間が限られるため、視聴してもらうだけの時間が作れない」、「同じ業種や規模の企業でなければ、解説が難しそうだ」といった活用するための課題としての意見もあった。

セミナーの内容で実際に指導してみたいと思うか

回答項目	回答数
指導してみたい	794
指導は難しそう	144
合計	938



指導してみたいという方は 84.6%と前年度の 68%よりも上回っており、事業目的の一つである指導者としての意識向上が図れてきている。指導者登録制度などは高評価であり、機会があればぜひ指導してみたいと考えている方は増加している。

しかし、実際に指導するには、知識・経験の不足を不安視している方が非常に多いのも現実であり、誰でも実施できるマニュアル化の要望や、具体例やルールなどの良い見本が欲しいといった意見もあった。

更には、中小企業に対しては時間を割いてもらうことが難しい様子であり、ビデオ視聴と簡単な解説で1時間程度で終わる内容の提供を要望する声も挙がっていた。

【躊躇・慎重意見の抜粋】

- ・ 参加者を集めるのが難しいと思う。
- ・ 受講者のスキルがばらばらであるため、対象者をどの層にするかの判断が難しい。
- ・ 自分自身の教えるレベルでの知識やスキルが不足している。
- ・ 受講対象にあわせて、2時間程度のコースとしてコンパクトに実施することが難しい。

(ク) セミナー全体に対する感想や意見

総合的な意見としていただいているもののほとんどが、好評価の意見であり、特に、演習用ビデオや10則の改訂として行ったC・Aの見直し演習は評価が高く、もっと時間を割いても受講したいという意見が多かった。

本事業も5年度をかけて行ってきており、毎年指導する方のスキルアップを中心に考えてプログラムを考えており、継続して受講いただいている方からは「毎年アップデートされた内容で非常に参考になる」、「時代に合った内容となっておりすぐに役立てられる」と有効性を評価いただいている。また、初回受講の方も多いことから、初めて参加してもある程度理解できるような教材作りを意識し、ビデオ作成やテキストの改訂を行ってきたところである。

今年度も千名を超える方に受講いただいております、より良い内容とするための厳しい意見も含めて、非常に多くの参考になる意見をいただいております、それだけでも本事業への期待を感にさせるものとなっている。紙面の都合上、以下にさらに改善するための意見として代表的なものを抜粋して記載させていただく。

セミナー運営(時間配分等について)

- ・ 資料が盛り沢山、内容が盛り沢山の時間が足りない。確認する場面が無い。
- ・ 演習の時間配分を進行によって変えたほうがいい。発表内容が重複するなど、冗長となっていたり、発表に対する解説や討議があると良い。

テキストの内容について

- ・ 最新のTOPICにアップデートされていたのが良かった。
- ・ 中小企業のインシデント(実際の話)の情報をもっとたくさんあれば、経営者にも意識をもって見てもらえると思うので、従業員10名以下など、それぞれ業種や企業規模にあった事例を記載してあると良い。

プログラム内容「重要ポイントの解説」について

- ・ セキュリティに関する新しい情報(最新の具体例)をもっと知りたかった。
- ・ 必ず伝えるべき箇所を、指導者の立場として説明できるようもう少し詳しく解説して欲しい。

プログラム内容「ビデオ演習 ～ 」について

- ・ 3つの課題を行う事で問題点の把握方法、手順の流れを理解する事が出来たと思う。
- ・ 演習 企業ごとのルール見直し演習はこれまでにない演習で興味深く取り組めた。
- ・ ディスカッション中心であり、中小企業を指導する上で、実際にこんな感じで進めると良いと思った。問題点のユースケースが聞きたかった。
- ・ 指導をする、という考え方でこのようなセミナーを受講したことがなかったので、目線を変えた勉強が出来、良いセミナーになりました。
- ・ 演習での役割分担については、もう少し強制的なルールでみんなが担当出来るようにしても良かったかも知れない。
- ・ PDCAの指導要領の明確な説明が必要だと思った。
- ・ 演習 は何が演習課題か分かりにくかったため、具体的に何を課題として何を作成し提示するのかを明確にしてから行った方が良い。
- ・ 演習のねらいを説明していただくと、コンテンツを利用しやすくなると思う。
- ・ 解答例の説明時には、事前に紙資料を配布の上で行って欲しかった。

ビデオの内容について

- ・ 中小企業の幹部等には座学等での説明では理解してもらいにくいいため、このような現実を促した課題を提示できるビデオは理解を得やすいのではないかと考えている。
- ・ 2年前の内容からセキュリティの取り組みが会社の状況変化にあわせ実施した内容で観点の奥ゆきを求めるもので参考になる内容であった。
- ・ チェックポイント回答例のような編集があるとより活用しやすいと思う。
- ・ ビデオの最後の部分は、もう少しまとめた事柄を入れてもいいと思う。

セミナー全体への意見

- ・ 今回の経験をさらに活かすために、講習会の具体的なプログラムを使用した上級編のセミナーがあると、地域で開催する有用なセキュリティ講習会の開催につながる。
- ・ 教材等受講者のレベルにより、各受講者に適した内容にした方が良いと思われる。
- ・ 謝金の値下げは仕方ないが、諸経費の援助があれば講習会の開催がしやすくなる。

第9章 開催会場からの意見

開催に協力いただいた商工会議所、商工会連合会等(21 団体)に、地域の中小企業における情報セキュリティ対策の現状を踏まえつつ今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。

なお、複数回答設問については設問回答数合計が 21 件以上、回答がなかった設問は回答総数の 21 件に満たないものがある。

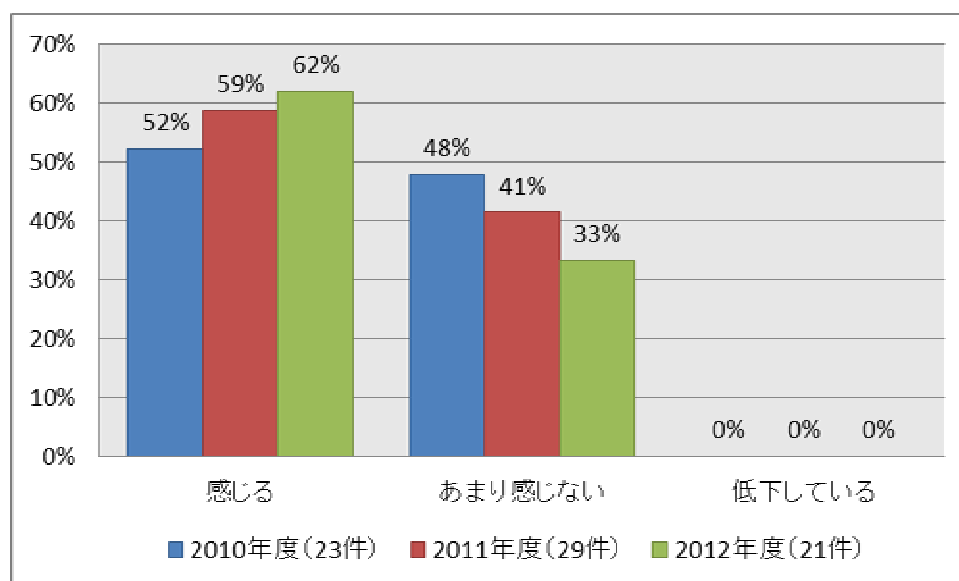
(ア) 昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
13	7	0

事故や実害があって初めて対応を考える企業はまだ多いが、昨年よりも意識の向上を感じるという回答割合が増えており、以下の過去 3 年間のグラフを見ても毎年増加傾向。意識はまだまだながらも徐々に上がり始めているという状況がうかがえる。

個別意見としては、ニュース等での報道機会が増え、震災の影響やマスコミからの情報増加により、問題意識の高まりは感じるものの、自社に起こることではないと感じていたり、時間の経過で意識が希薄になってくるという意見もある。

自らにも起こりうることだという認識を持たせ、継続して意識アップをしていく環境を作っていく必要がある。



【自由意見】

- ・ いわゆる“なりすましウイルス”事件の報道、その他のメディアでのニュースがピックアップされる毎に、問題視はしていると思われる。
- ・ 昨今の報道の影響で「意識先行」になっている。
- ・ 最近起こった事件で踏み台の認識がされれば良いが、全般的には我が社にはあまり関係ないと考えている。
- ・ 情報漏えい事件が発生して、世間で騒がれている間は話題に上がるが、落ち着けばそれきりとなるケースが多い。

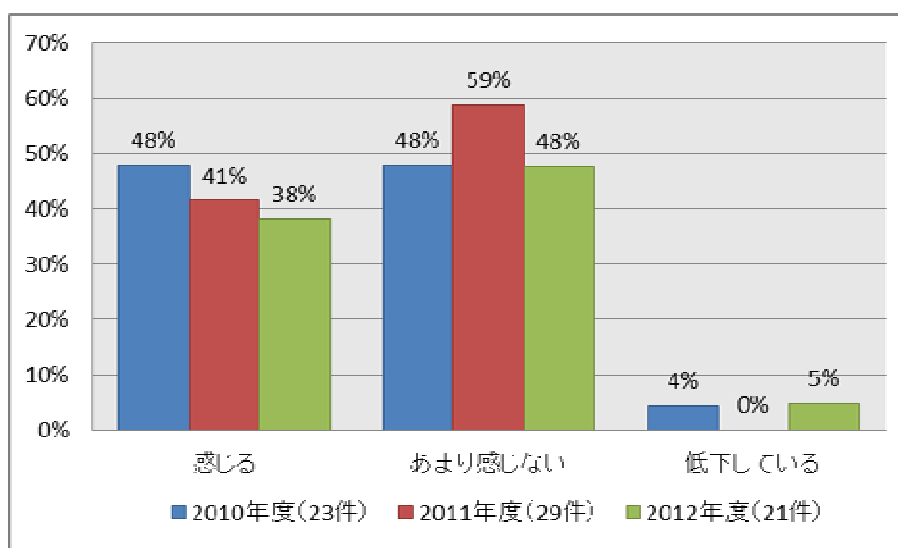
(イ) 昨年度と比較して情報セキュリティ対策に取組み始めている企業が増えていると感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
8	10	1

毎年このセミナーを実施しており、参加者が増えているため実感として感じているという意見もあるが、以下の過去3年間のグラフを見ても全体としては若干下降傾向。

地域企業の情報セキュリティ対策としての情報が少ないこともあり、本事業でのセミナー実施の傾向からしか、対策や意識の状況が分からないという意見もあった。

今後、対策を継続して強化して行くためには、定期的な状況調査の基で、適切な施策や活動の提言を怠っていく必要があるだろう。



(ウ) 地域における指導者の立場の人材の現状についてどう思うか？

十分にいます	十分ではないがいます	どちらともいえない	あまりいない
1	8	9	2

まだまだ十分にいますという地域は少ないが、ITコーディネータなどの能力を持った方の活用に期待する声があった。

特に、指導できるという方の業種や保有スキルが分からないため、経歴や得意分野などの開示があると相談しやすいという意見がある。

中小企業および商工会議所等では、必要とされる業務経歴や適切な情報セキュリティ知識を持った人材と出会う機会が少ないため、相談したくともできない現状があるようだ。

各地域ごとのコミュニティや指導体制を含めて、構築を考える必要がある。

(エ) 各団体が主催の情報セキュリティに関するセミナーの年間開催数

1～5回程度	5～10回程度	11回以上	開いていない
14	1	0	6

開催頻度は少ないものの、ある程度は情報セキュリティに関するセミナーを開催されている。ただし、経営相談やIT活用といった、業務での優先的に必要とするセミナーが多くなる傾向はあるため、同時開催したり、関連する内容として講義内容の盛り込むなどしなければ、なかなか単独でのセミナー開催は難しいとの意見もある。

業務に関係する内容で、短時間で行える資料やセミナー内容の検討も必要かもしれない。

(オ) 前記設問で「開いていない」とお答えの団体の理由

講師がいない	会員等からの要求がない	必要性を感じない	その他
2	6	1	3

開催していない理由は様々だが、「会員からの要求がない」、「必要性を感じない」という回答もあり、まだまだ地域で主体的に活動いただくべき各団体の意識向上も必要だと感じる。

本事業で指導者となっていただいた方々と、各団体が一体となって行けば、本来必要な情報セキュリティ意識醸成に拍車をかけることができるはずである。

各地域ごとの特性を把握しながら、主体的に活動してもらえる環境作りを更に強化して行くべきであろう。

(カ) 指導員として対応できる方がいた場合、次のような講師等の対応機会はあるか。

対応項目	回答数
商工会議所などが主催でセミナー等を開いて講師として活用したい	9
中小企業に指導員がいる事を案内して、講師として活用したい	6
特にない	5

活用を考えているという意見は、前年に比べて増えていない。個別意見を確認すると、集客の不安とともに、講師としての指導以外にどのような対応をしてもらえるのかが未知数であることへの不安があるようだ。

前項目での意見でも挙がっていたが、指導者の持っている業務経歴や知識と、相談してほしい企業ごとの業務内容が合っているのかを意識してマッチングを考える場合が多いようだ。業務経歴やこれまでの指導経験を具体的に記載したプロフィールなどを提示できるようにして行くことも検討すべきであろう。

(キ) その他の要望事項

- ・ セキュリティ対策については、初歩的な対策さえできていない企業とさらに高度な対策を検討したい企業の二極化状態にある。
- ・ 中小企業でも担当者としてかなり勉強している方もいるので受講者のレベルを出来る限りあわせて、講義を行うなどの対応が必要と思われる。
- ・ 今後、情報セキュリティに関するセミナーを開催する予定であり、開催時の支援という形で、連携サポート頂ければと思う。
- ・ 指導者向け、中小企業等を支援する立場の人を対象にしたセミナー、勉強会は、地方都市では多くないため、今後も事業があれば開催してほしい。

第10章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見

今回の促進事業では、各地の商工会議所及び都道府県中央会と連携を行ったことから、地域での情報セキュリティ対策の促進のために、各地の商工会議所・都道府県中央会が把握している現状についてアンケート調査を行い、今後より効果的な対策を実施するための現状分析を行った。

なお、回答がなかった設問については設問回答数合計が回答総数の90件に満たないものがある。

(ア) 県別の回答状況

		北海道				回答総数： 90件	
		3	3			商工会議所： 69件	
商工会議所		3	3			中小企業団体中央会： 21件	
中小企業団体中央会		0	0				
		東北		青森県	岩手県	宮城県	秋田県
		11	1	0	2	3	3
商工会議所		8	0	0	2	2	3
中小企業団体中央会		3	1	0	0	1	0
		関東		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
		35	6	3	2	5	3
商工会議所		28	5	2	1	5	2
中小企業団体中央会		7	1	1	1	0	1
			東京都	神奈川県			
			2	8			
商工会議所			1	7			
中小企業団体中央会			1	1			
		新潟県	山梨県	長野県	静岡県		
		3	0	2	1		
		3	0	1	1		
		0	0	1	0		
		中部		愛知県	岐阜県	三重県	富山県
		7	1	3	0	3	0
商工会議所		5	1	2	0	2	0
中小企業団体中央会		2	0	1	0	1	0
		近畿		福井県	滋賀県	京都府	大阪府
		10	0	0	1	4	2
商工会議所		8	0	0	1	4	1
中小企業団体中央会		2	0	0	0	0	1
		中国		鳥取県	島根県	岡山県	広島県
		7	0	1	3	2	1
商工会議所		6	0	0	3	2	1
中小企業団体中央会		1	0	1	0	0	0
		四国		徳島県	香川県	愛媛県	高知県
		5	1	2	1	1	
商工会議所		3	1	1	1	0	
中小企業団体中央会		2	0	1	0	1	
		九州		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
		12	3	0	2	1	2
商工会議所		8	2	0	2	1	1
中小企業団体中央会		4	1	0	0	0	1
		沖縄		沖縄県	不明・その他		
		0	0	0			
商工会議所		0	0	0			
中小企業団体中央会		0	0	0			

(地域の区分は、経済産業局管轄区域に基づく)

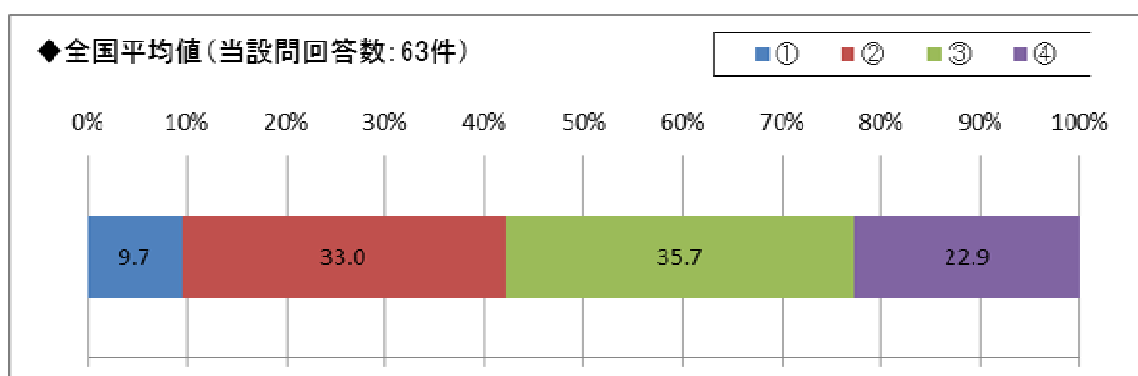
(イ) 傘下中小企業・団体における IT 利活用状況はどのレベルにあると思うか。傘下中小企業・団体全体を 100%と考えた場合、次の4段階に相当するレベルの企業はどの程度の割合かを回答してもらった。

Web ショップによる顧客開拓、協力企業間で EDI 構築による商取引を駆使するなど、ビジネスに存分に活用している。(IT 活用度 高)

ホームページによる宣伝や、電子メールでの情報交換を積極的に行なうなどビジネスに利活用している。(IT 活用度 中)

社内の業務システムを中心に利用している。(IT 活用度 低)

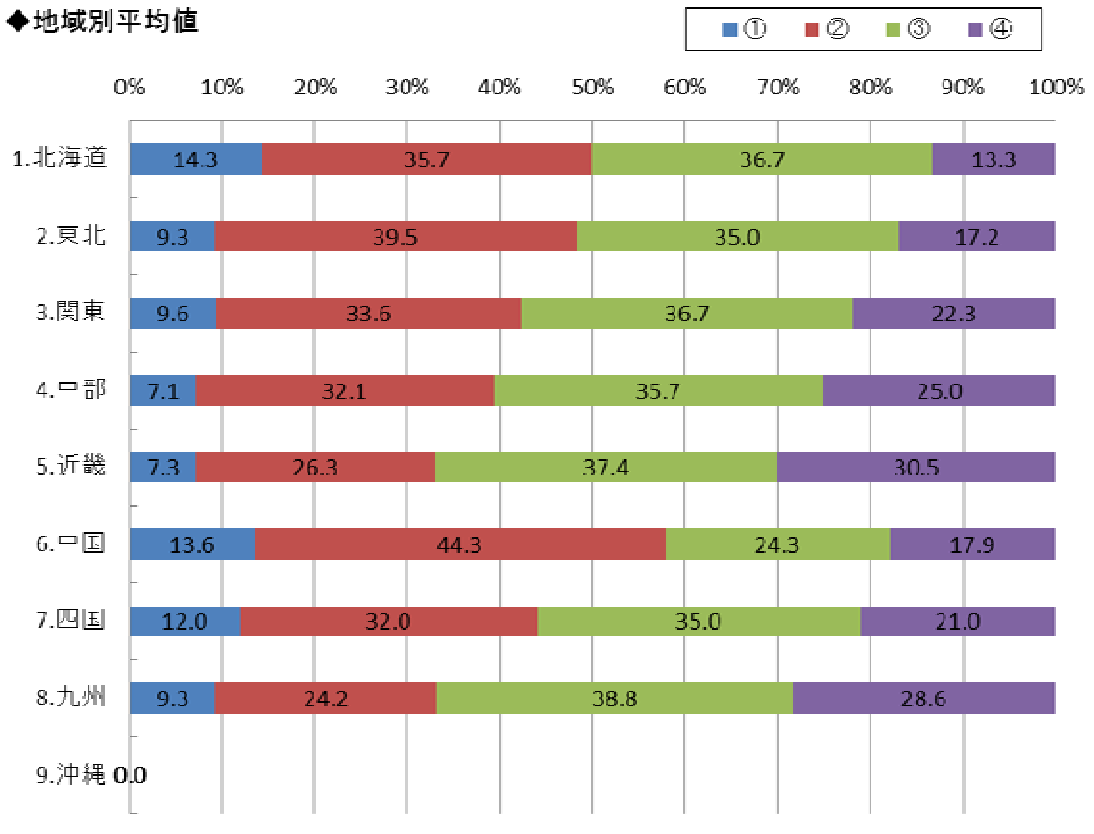
ほとんど利用していない。(IT 活用度 無)



このアンケート項目では、情報セキュリティへの意識及び対策状況には、IT活用の度合いが大きく影響するといえることから、会員企業の IT 活用状況を聞いている。

IT 活用度 高 と IT 活用度 中 の合計で、42.7%とほぼ横ばいで、業種や規模によって活用するITは踊り場に来ている感がある。これは、次ページの地域別のグラフを見ても同傾向である。しかし、今後のクラウド・スマートデバイスといった IT の活用方法や、それが与える働き方の変化による IT 活用状況を定期的に観測して行く必要があるだろう。その変化によっては、対策を重視する企業数や内容の変化が表れてくる可能性がある。

◆地域別平均値



(ウ) 傘下中小企業・団体における情報セキュリティ対策度は、どのレベルにあると思うか。傘下中小企業・団体全体を100%とした場合、次の4段階に相当するレベルの企業はどの程度の割合かを回答してもらった。

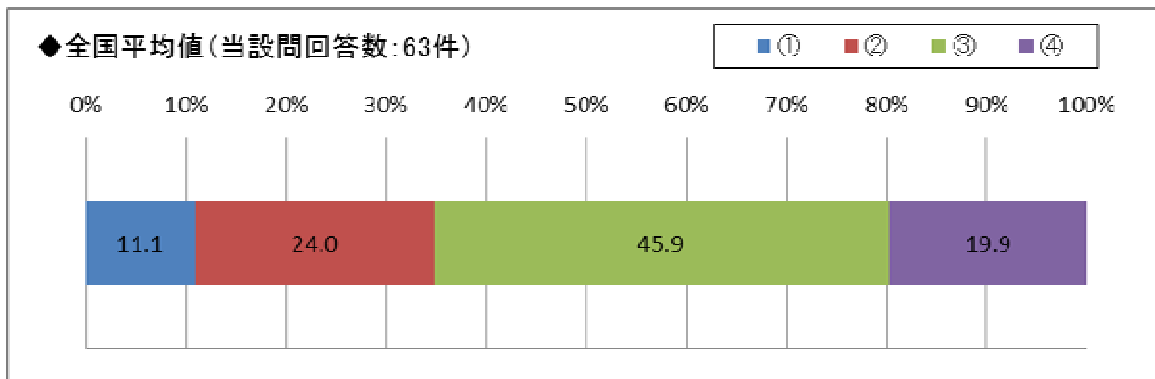
【回答肢】

会社全体として対策が実践されると共に、定期的な見直しがされ、適切な運用が行われている。

会社全体で対策は行われているが、定期的な見直しが行われていない。

対策は行われているが、ウイルス対策など一部のみに留まっており、会社全体での対策は不十分である。

ほとんど対策が行われていない。



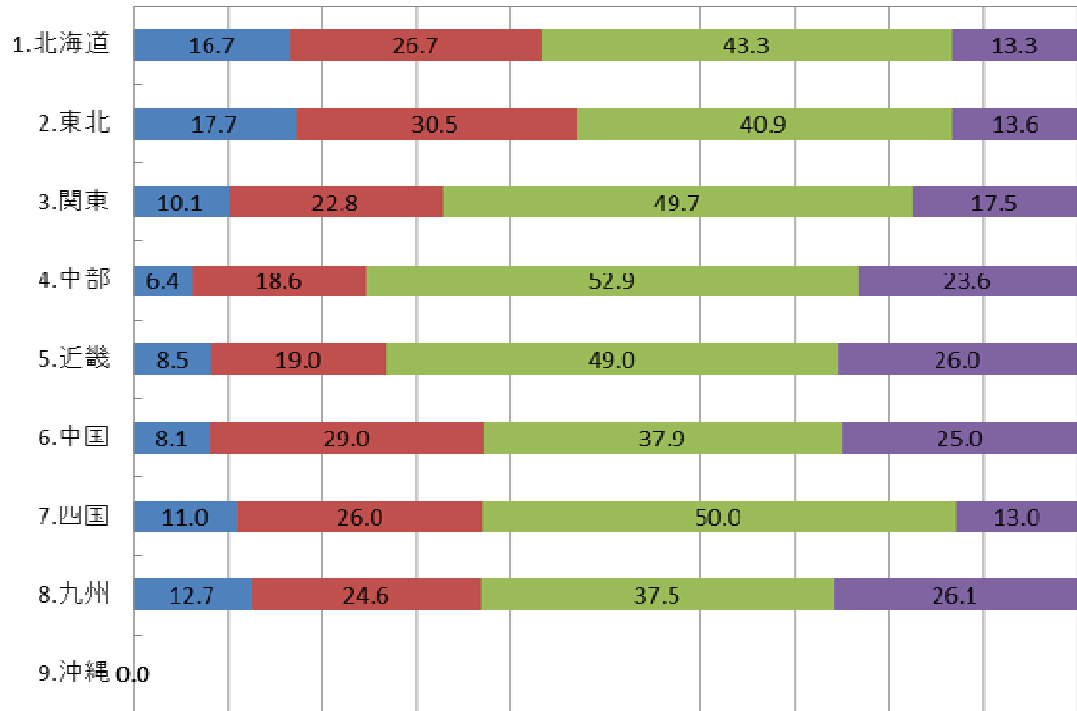
商工会議所等の地域団体が会員企業との日常の交流から感じている定性的な情報であり、個別の事象を具体的にチェックしたものではないが、おおむね地域間の特性をつかむことができる情報として分析を行った。

前年までも同項目で調査を行っているが、前年からは大きな変化がない。注目すべきは「ほとんど対策が行われていない」という項目の数字であり、次ページの地域別グラフを見ると、回答があったすべての地域で10%を超えている。また「一部のみで不十分」も含めてもすべての地域が50%を超えている結果であることから、中小企業では全国的に情報セキュリティ対策が大きく遅れているといわざるを得ない。

◆地域別平均値



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(エ) 傘下中小企業・団体における情報セキュリティ対策の理解度を、次の5段階で一番近いと思われるレベルにチェックしてもらった。

経営者の意識の持ち方や対策のための知識

どの企業も 高い	一部の企業を 除き一般的に 高い	どちらとも いえない	一部の企業を 除き一般的に 低い	どの企業も 低い
0	7	31	49	0

どちらかという低い状況だという意見がデータから見てとれるが、低いと答えた企業の割合は増えており、情報セキュリティ対策の重要性が高くなってきているほどには経営者の意識は高くなっていないと感じられているようだ。

個別の意見としては、中小企業の中でも比較的大きな企業と小さな企業に乖離が感じられる、という意見もあり、経営に対して情報セキュリティ対策が大きな影響を与えることが、正しく理解されていない可能性があるため、その格差に応じた啓発施策や指導方法が必要となってきている。

従業員の意識の持ち方や対策のための知識

どの企業も 高い	一部の企業を 除き一般的に 高い	どちらとも いえない	一部の企業を 除き一般的に 低い	どの企業も 低い
0	2	43	43	0

おおむね経営層と同等の回答数であり全体的に意識は低く意識格差も大きい。経営者と同じく、情報セキュリティ対策の重要性ほどは、企業の意識や対策が進んでいない可能性がある。

取引企業への影響など情報セキュリティの脅威や現状を正確に伝えるとともに、企業ごとに実施している対策が、本当に有効性があるのかを具体的に確認してもらい見直すことができるように指導して行く施策が必要と言える。

(オ) 地域における指導者の立場の人材の現状

指導的立場の人材の有無

十分にいる	十分ではないが いる	どちらとも いえない	ほとんど いない
0	35	37	17

地域にもよるだろうが、情報セキュリティ分野における指導的立場の人材は増加しているわけではなく、専門業者などに頼る必要も出てきている。特に対策が高度かつ広範になってきている現状から、指導者の専門業種や経歴を明示するほか、情報セキュリティをいくつかの専門分野に細分化し指導できる分野を明示するなど、必要な知識と対策のマッチングを行えるようにすることも必要となってきた。

【自由意見】

- ・ 地域支援機関と連携した地域ベンダー、地域 ITC の育成が必要。
- ・ 現状は、地域のシステム会社に依存していると考えられる。
- ・ 各種セミナーの開催といった機会拡大や、専門家派遣の活用、補助金、助成金などの制度が必要。

指導的立場の人材に期待する指導内容

対策項目	回答数
経営層の意識の持ち方や体制・ルール作りといった組織的対応	55
情報システム及び通信ネットワークの運用管理	36
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守	19
クラウドやスマートフォン、タブレット端末などのモバイルといった新しい情報技術の活用	41
建物やPCの管理などの物理的・環境的な対応	48
情報セキュリティ上の障害・事故対応、BCP(事業継続)対応	46
企業が知っておくべき情報セキュリティ関連法令・制度	24
その他	2

「経営層の意識の持ち方や体制・ルール作りと言った組織的対応」が継続してトップであり、そもそもの情報セキュリティ自体に関心を持ってもらうような指導が必要と考えられている。

また、昨年に比べて、クラウドなどの活用や、PC の管理といった項目が増加しており、パソコン自体の入れ替え期に入っている影響で、インフラの見直しへの注目度が高まっていると考えられる。

(カ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要と思うか。いくつかの選択肢を示して、必要と思われる項目を挙げてもらった。(上位3つまで複数回答可)

対策項目	1位	2位	3位
経営者への情報セキュリティ意識啓発活動	60	7	4
経営者への情報セキュリティ対策方法の教育	7	14	4
従業員への情報セキュリティ意識向上・啓発活動	3	26	19
従業員への情報セキュリティ対策実践教育	4	19	15
市場や顧客からの信頼・評価	3	0	3
情報セキュリティ対策技術の習得・向上、対策ツールの利用・開発	1	2	6
企業内の体制整備	5	6	13
情報セキュリティ関連法制度の整備	0	2	3
地域での指導者育成や確保・サポートセンターの充実	5	6	10
対策支援費等の補助制度の充実	1	7	10
その他	0	0	1

まずは前年と同様、経営者への啓発活動が圧倒的多数となった。次いで、従業員への啓発と対策方法の教育という意見が多く、経営者が必要性を知り、従業員が適切な対応を行うことが企業活動では重要と考えられているが、継続した課題でもあるという結果となった。

また、対策支援費等の補助制度の充実は、多数ではないが継続して出てくる意見である。経営者と従業員への意識啓発と継続教育と並行して支援制度として提供することで、企業内での対策が進んでいく可能性もある。

(キ) 今年度の情報セキュリティ指導者育成セミナーと今後の実施に関する意見を伺った。

本セミナーについてご存知でしたか。

はい	いいえ
41	48

本セミナーの認知度は、「いいえ」が「はい」を上回る結果となり、まだまだ認知度は低い状況である。ITコーディネータの地域団体や地元のNPOの協力で、会場を商工会議所等を利用し、運営を地域のNPOなどという体制が増えて来ていることから、年度当初から積極的に開催の協力を行うなど、より一層関係団体の連携体制を作っていく必要があるだろう。

今後も、積極的に実施したほうが良いと思われませんか。

ぜひ必要	どちらかといえば必要	どちらともいえない	あまり必要ない	必要ない
18	40	28	1	2

実施にはおおむね賛成が多く、必要はないとの意見は非常に少ない結果となった。積極的かどうかは特に地域の人口規模に比例することなく、団体ごとの担当者の意識によるところが大きそうである。実際、積極的に開催の企画から集客に協力いただける団体も増えて来っており、地域の中心となっていたらとすべき各団体への啓発活動としても継続して行くべきであろう。

各団体が協力して本セミナーを実施する場合の、内容に関するリクエスト

内容は圧倒的に初心者向けの要望が多く、気づきを与える内容や、日常業務を基にした事例を多く活用した初心者向けセミナーという意見が多かった。また、経営者・幹部向けの短時間講座の要望もあり、中小企業に直接的に行う内容で、まだまだ意識啓発や気づきを与えるセミナーの要望は多い。

本セミナーの参加率を高めるための御意見やアイデア

指導者育成の趣旨で行っている事業だが、経営者に直接訴える機会の必要性を感じているという意見も出てきている。経営相談などを通じて説明はしているが、専門家が話す機会を作った行かなければ、経営者は真剣に向き合わないということから、経営者にアピールするための意見が以下のように多く出てきた。

【自由意見】

- ・ 企業の事例や生の声を聴ける機会をつくる。
- ・ 中小企業の社長の関心事につながるよう、セキュリティ対策で売り上げ増につながった事例をPRする。
- ・ 受講者の知識やレベルに合わせたセミナー内容での開催。
- ・ 駅から近いなど交通の便利な場所での開催。
- ・ 支援団体・協力機関への定期的なメールマガジン等情報提供。
- ・ セミナー内容を企業の担当者向けにして、セミナー名称も参加しやすくする。
- ・ 企業の経営者に対する直接的な周知徹底。
- ・ 本セミナーの前段として、経営者向けの意識啓発セミナーなどの開催。

貴団体での実施を希望、または実施依頼をすれば検討いただけますか？

ぜひ実施を希望する	依頼があれば検討する	実施は難しい
1	58	29

前々項の質問では実施に対してはおおむね賛成であったが、自団体での実施は難しいとする意見が相当数出てきており、総論賛成各論反対という状況となっている。特に参加者募集に不安を抱いているという意見が多く、少人数しか集まらなかった時に、開催団体として申し訳ないという意識が強いようである。また、まだまだ本事業の理解がされていない中で、経費が掛かるのではないかと、人的工数はかけられない、といった意見もあることから、事業の理解を深めていただくとともに、地域で運営する事務局的存在として地域ITC団体との連携を進めるなど、さらに安心して会場提供いただける環境作りが必要であろう。

(ク) 会員企業向けにIT化促進支援事業(出来れば、情報セキュリティ対策に関連)として、活動されている主なものを自由記述してもらった。

活動内容	回答数
IT セミナー、パソコン教室	11
パソコン出張サービス、巡回指導	7
情報セキュリティセミナー (IPA 含む)	4
経営講習会	1
IT無料相談	5
ホームページ作成支援	4
会報等による啓発周知	1

(ケ) 会員向けに情報セキュリティ対策を行う際に、現時点で指導者の立場として応援を求める方がいるかどうかを、選択肢から選んでもらった。(複数回答可)

対象者	回答数
ITコーディネータ	65
中小企業診断士	34
EC実践研修認定講師	4
日商マスター	2
公認会計士、税理士などの財務専門家	1
弁護士、司法書士などの法務専門家	6
貴組織内の相談員	11
民間のITベンダー	40
ITC以外のIT関係資格保持者	14
その他	3
誰もいない	0

【その他の内容の主な対象者】

- ・ Web ディレクター
- ・ 県の外郭団体
- ・ 会員企業(コンピュータ関連)

第 11 章 指導者育成セミナー担当講師意見

今回の指導者育成セミナーを担当した当協会所属の講師から、実施した側としてどのような効果があったのか、あるいは課題としては何があると考えているかの意見を求めた。

討議形式で行ったものの概要を、テーマ別に以下に記しておき今後の参考意見としたい。

(ア) セミナー内容

- ・ 参加者のスキルの乖離は今まで以上に大きくなっていく。セミナーの参加対象者により、セミナー開催コンセプトを整理する必要がある。またカリキュラムを変えて実施することも検討が必要となってきた。
- ・ 技術力の向上を求める声も出てきているが、IPA の iSupport などの既存サービスと連携することも必要。
- ・ セミナー参加形式を午前午後で対象者を分けるなど、2段式で行ってはどうか。

(イ) テキスト

- ・ テキストは構成変更を行うとともに、最新情報の追加やデータの更新ができて非常にタイムリーな情報提供ができた。
- ・ テキスト解説の時間配分としてプログラムの時間数では不足していたので、最新動向だけにするなど、ポイントだけに絞った方がいい。
- ・ 次年度以降、テキストの改編は行わない場合にも、グラフ等のアップデートは必要。

(ウ) 地域での指導者による講習会の開催推進

- ・ 地域ごとに指導者と協力団体が主体となって講習会を開催できるようにするなど、地域単位での活動基盤作りを支援する仕組み作りが必要。
- ・ 最新情報や事件事例などの重要情報解説は地域での指導者では難しいため、JNSA 講師が対応するなどの支援の仕組み。
- ・ 受講者による地域での講習会開催のインセンティブとして、積極的に開催を行った講師を表彰するような制度も検討する。
- ・ 業種・業態や得意分野別に精通した講師を、スキル評価して開催団体に提示するなどとも検討し、積極的に活用しやすい環境づくりを行う。

第 12 章 講師スキル養成講座開催状況

(ア) 実施概要：

中小企業の経営者に情報セキュリティ対策の必要性や経営に与えるインパクトを的確に伝え、なおかつ適切な対応を実施してもらうためには、情報セキュリティの知識を伝えるだけでなく、中小企業の立場に立って、業務を理解しながら情報セキュリティ面の指導をしていくことが重要である。

このため、数年に渡り演習を中心としたセミナープログラムを実施してきたが、今年度は知識を相手の立場に立って分かりやすく伝えるためのプログラムを実施した。

業界の専門分野の方々の講話を午前中に行い、午後のすべての時間を使用して講師としてのスキルを学んでもらう機会とした。テキストの内容を短時間でポイントだけ伝えるための技術はもちろん、話し方といった印象に関する面も、ロールプレイを中心として体験してもらい、講師として必要とされるスキルの奥深さを感じてもらう講座として開催した。


- 開催日時 : 以下 2回開催
2012年12月4日(火)、2013年2月26日(火) 各9:30~17:00
- 開催場所 : 東京都 ベルサール八重洲
- 定員 : 各回最大30名で募集
・12月4日(火)・・・30名参加
・2月26日(火)・・・19名参加
- 参加対象 : 指導者育成セミナーに参加いただいた受講者の中から、地域で中小企業に対する指導や講習会を積極的に行う意志がある方を中心に、申請いただいた講師経験や保有資格・スキル等を参考に選定した。

(イ) タイムスケジュール

午前	
9:30～9:35	オリエンテーション (5分)
9:35～10:15	専門家による最新動向の講演 (40分) 「中小企業が知っておくべき不正プログラム対策」トレンドマイクロ 小屋晋吾氏
10:15～10:25	休憩 (10分)
10:25～11:05	専門家による最新動向の講演 (40分) 「現実的なサイバー攻撃シナリオ」サイバーディフェンス研究所 名和利男氏
11:05～11:10	休憩 (5分)
11:10～11:50	専門家による最新動向の講演 (40分) 「知っておきたい SNS の情報セキュリティ」日本アイ・ピー・エム 守屋英一氏
11:50～12:50	昼食 (60分)
午後	
12:50～14:05	プレゼンテーション実践講習 大塚商会 長嶋純子氏 不特定多数の受講者に対して、セミナー形式や演習形式で講師を実施するためのスキルを養い、指導者育成セミナーで学んだ知識や指導用ツールを活用して、中小企業への効果的な指導を行ってもらうためのスキルを習得してもらう。 理解しやすい説明の流れの作り方やわかりやすい話し方、積極的ではない参加者への接し方などを学ぶとともに、ロールプレイによりテキストの一部を実際に説明するなどして、講師としての実践スキルを習得してもらう。 講師としての基礎知識 (75分) <ul style="list-style-type: none"> a. 講師の役割と必要な知識 [講義/ディスカッション] (15分) 各自の考えを言葉にすることで、講師としての役割、すべきことを明確に認識する。 b. わかりやすい話の組み立て方 [講義/ミニワーク] (35分) 話の組み立て(Whole-Part-Whole法、PREP法)を確認する。 実際に「指導用マニュアル」の一部を使いわかりやすい話の組み立てを考える。 c. コミュニケーションのポイント [講義/ディスカッション] (25分) 受講者への対応をケーススタディで考え、対応のポイントを理解する。
14:05～14:15	休憩 (10分)
14:15～15:05	研修効果を高める講師テクニック (50分) <ul style="list-style-type: none"> a. インストラクションテクニック [講義] (10分) 表情や話し方に関するポイント、積極的傾聴について確認する。 b. 基礎知識を踏まえて説明演習 [ロールプレイ] (30分) 5名程度のグループごとに、話し方や相手に与える印象を意識して順番にインストラクションを実施する。それに対しグループメンバーにコメントをもらう。 c. 研修の企画と設計 [講義] (10分) 実際のテキストを例に、何をどこまで伝えるか、組み立て方を含めて説明する。
15:05～15:15	休憩 (10分)
15:15～16:50	インストラクション演習[ロールプレイ] (95分) グループごとに、「わかりやすい構成」「わかりやすい伝え方」を踏まえ、1つのパターンを作成。各グループごとに代表1名による全体発表を行う。
16:50～17:00	講師講評 セミナー終了 (10分) 1日のまとめとして、講師実践上の注意点や、会場ごとの演習の中で特に気になった点などを解説。

時間帯は開催回ごとの進行により若干変更している。

(ウ) 開催回別状況(開催日程順)

講師スキル養成講座(第1回) 開催報告書				
日時	2012年12月4日(火) 9:30~17:00			
場所	ベルサール八重洲 2階 ルームE			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
講師	午前講演:小室晋吾氏、名和利男氏、守屋英一氏 午後プレゼンテーション実践講習:長嶋純子氏	総参加者数	30名	
セミナー参加者	ITコーディネータ	18名	商工会職員	0名
	中小企業診断士	3名	中央会職員	0名
	日商マスター	0名	商工中金職員	0名
	EC実践講師	2名	その他	10名
	商工会議所職員	0名		
主催者スタッフ	講師:本川氏、大財氏、 JNSA:持田、井上、林、早川、青木			7名
参加者の状況	10月29日の東京会場までの12会場への指導者育成セミナー参加者が対象			
参加者は指導経験があり、その6割がITコーディネータ。また過去のセミナーに参加された方が7割を超えている。地域別の参加状況は、北海道、東北、信越が1人ずつ、関東8人、中部5人、近畿6人、中国3人、九州3人となっている。				
参加者からのご意見	<p>過去4年間の指導者育成セミナー実施で参加者の知識レベルの差が大きくなってきていることから、指導者としてのレベルに応じてセミナー内容を検討し、より実践的な、日本全国で「指導者育成セミナー」の伝道者として活躍できる人材を育成することを目的に開催されたが、指導スキルについて体系的にまとめた説明と受講者によるプレゼンテーションを評価され、定期的な継続開催を希望する意見を多く戴いた。</p> <p>また、養成講座で得た知識を活用できる機会や場(セミナー依頼や講師紹介依頼の情報紹介)を希望される意見や講師評価を行って欲しいとする積極的な意見も頂戴した。</p>			
全体の考察	<p>午前の専門家による最新動向の講演については、開催地のセミナー終了後の受講者アンケートによせられる“もっと最新動向について聞きたかった”、“もう少し高いレベルで解説を聞きたかった”等の受講者のリクエストに応えたもので、講師の「技術的な仕組みへの理解を求めるよりは、新しい事実や仕組みを知識に加えてもらう」という思いに溢れた具体的事例の提供により、受講者の情報セキュリティに対する理解を助け、興味を持続させるうえで効果があったと思われる。</p> <p>また、午後のプレゼンテーション実践演習では、参加者全員が遅れることなく、講師の解説を即実践に結び付けられている様子から、指導用マニュアルを「……とは」と「対策」をブリッジして纏める手法を再認識され、再履修の場として活用戴けたのではと感じられた。</p> <p>アンケートからも、“ハッと気づくことが多くあった”“改めて講師としての原点を振り返ることができた”“再度の勉強になった”“自己研磨に励みたい”という意見が多く、「受講機会は多くあるので、講師のプレゼンテーションを注意深く今後は観察したい」という意見が受講者の気持ちを代弁している様に感じられた。</p> <p>午前、午後を通じ、講師の解説の随所に受講者からの質問があり、演習では受講者それぞれが発表を楽しみ、自らの指導能力を評価される、和やかな雰囲気が漂うセミナーであった。</p>			

講師スキル養成講座（第2回） 開催報告書				
日時	2013年2月26日（火） 9:30 ~ 17:00			
場所	ベルサール八重洲 3階 ルーム4・5			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
講師	午前講演：小屋晋吾氏、名和利男氏、守屋英一氏 午後プレゼンテーション実践講習：長嶋純子氏		総参加者数	19名
セミナー参加者	ITコーディネータ	11名	商工会職員	名
	中小企業診断士	名	中央会職員	名
	日商マスター	名	商工中金職員	名
	EC実践講師	名	その他	8名
	商工会議所職員	名		
主催者スタッフ	講師：大財氏、 JNSA:持田、井上、林、早川			5名
参加者の状況	10月30日の函館会場以降の11会場への参加者が対象			
参加者は指導経験が豊富。ITコーディネータ、技術資格者・情報セキュリティ監査資格者がそれぞれ6割を占めている。 地域別の参加状況は、北海道、中国、四国が1人、信越、関東、中部、近畿が3名、九州が2名となっている。				
参加者からのご意見				
<p>新技術、新サービスの利用が高まる中、過去4年間の指導者育成セミナー実施で参加者の知識レベルの差が大きくなってきていることから、指導者としてのレベルに応じてセミナー内容を検討し、環境変化に適應した指導を行い得る実践的指導者として活躍できる人材を育成することを目的に開催。最新の情報習得の場として、また、講師としての指導スキルを再履修する場としての高い評価を戴いた。また、全国からの参加者のスキルについても納得感をもって戴いた様で、定期的な継続開催と受講者間の情報共有の場（メーリングリスト等）を希望する意見を多く戴いた。養成講座で使用された資料の提供を希望する方は前回同様も多く、養成講座で得た知識を活用できる機会や場を開発する上での支援として、受講証明書の発行を求める積極的な意見も頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午前の専門家による最新動向の講演については、講師の熱く語りかける最新情報に受講者も熱心に聞き入っていた様子であった。本講座受講後のアンケートの結果（「役に立った30%」「大変役に立った70%」）から、「もっと最新動向について聞きたかった」、「もう少し高いレベルで解説を聞きたかった」等の受講者のリクエストに十分応えることが出来たと感じる一方で、地域における最新情報への渴望感とタイムリーな情報の提供・共有の必要を強く感じた。</p> <p>また、午後のプレゼンテーション実践演習では、午前の知見を十分に活用参加者全員が講師の解説を即実践に結び付けている様子もうかがえ、指導用マニュアルを「・・・とは」と「対策」をブリッジして纏める手法を再認識され、再履修の場として活用戴けたと感じた。</p> <p>アンケートからも、「ロールプレイの実践機会を増やしたい」「普段行っているプレゼンに自信が持てた」「基本に立ち返ることができた」「講師の経験回数を増やしたい」と言う意見が多く、「本日得た知識をもとに、もっと訓練、実践を増やして行く必要があると感じた」と言う意見が受講者の気持ちを代弁している様に感じられた。</p> <p>午前、午後を通して、集中力を途切らすこと無く、演習では受講者それぞれが発表を楽しみ、お互いの指導能力を評価し合った。終始、和やかな雰囲気は漂うセミナーであった。</p>				

(工) 受講アンケート結果

専門家による最新動向の講演

(1) 中小企業が知っておくべき不正プログラム対策

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
31名	17名	1名	0名

(2) 現実的なサイバー攻撃シナリオ

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
30名	17名	2名	0名

(3) 知っておきたい SNS の情報セキュリティ～Facebook 編～

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
36名	13名	0名	0名

(4) 情報セキュリティの最新の技術や動向情報を常に吸収して行くにあたって

- ・ 今回のような最前線で仕事されている方の話は新鮮。少なくとも年に一回は最新情報に触れる機会が欲しい。
- ・ 情報セキュリティベンダーの会員制情報発信サイトやメールニュースから情報収集をしていきたい。
- ・ 事例の共有など、受講者同士の SNS、メーリングリスト等での情報共有の場が欲しい。
- ・ 情報収集のためセミナー参加や他団体等の横のつながりが必要と思います。
- ・ JNSA から教育用プレゼンで使用できる(加工、複製可)電子データを提供して欲しい。また、トピックスのある時のみでも良いので、メルマガでの情報配信をして欲しい。

プレゼンテーション実践講習について

(1) 講師としての基礎知識

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
34名	13名	0名	0名

(2) 研修効果を高める講師テクニック

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
34名	13名	0名	0名

(3) インストラクション演習

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
36名	10名	0名	0名

(4) 講師としてのプレゼンテーションスキルを向上して行くにあたって

- ・ 演習と講義のバランスがよく、講座の構成についてもとても役に立った。
- ・ 日頃講師を行っているが、ハッと気付く事が多くあり、反省させられた。
- ・ 今回のように体系的にまとめた説明を受けた事はなかったため、大変参考になった。持ちかえてすぐに行うことができる内容で、今年一番の自分の役に立つ講習だった。
- ・ 素早い切り返しや、対応する為の訓練(場数)も大切だと思ったが、やはり内容をしっかり頭に入れておくという事前準備の必要性を痛感した。
- ・ 本日得た知識をもとに、もっと訓練、実践を増やしていく必要があると感じた。

講座全体を通じて、実際に講師を行うことを前提にしてのご意見・ご質問

- ・ 受講者同士や、地域の商工会議所等とのコミュニティ連携強化
- ・ 最新情報を含めた講習で使える資料の提供(構成のサンプル、パワーポイント資料など)や、資料作成のサポート
- ・ 講習会開催のための企画と集客対策(各地の商工会議所との共催や講師依頼)
- ・ 実際に講演した研修やセミナーの講師評価の実施
- ・ 中小企業の経営者に自分事として考えてもらうためのアドバイス

(オ) 講師スキル養成講座の全体総括

12月と2月の2回に分けて開催し、全国から49名の参加者総数となった。地域が偏らないように選抜した結果、地域別内訳は関東(11名)、近畿(9名)、中部(8名)、九州(7名)と多く、その他は3から4名であった。受講後に地域での講習を開催していただける可能性が高い方を選抜することとし、外部企業の講師経験者や個人事業で中小企業の指導を行っている方を優先して参加いただいた結果、ITコーディネータが半数(26名)を占めた。

受講後のアンケート結果では、午前の最新動向の講演については60%以上が“大変役に立った”と評価。このような情報セキュリティの最新技術や動向情報を常に吸収して行くに当たった意見では、大部分の方が、「受講者同士のメーリングリスト等によるコミュニティ」の場を要望。また、午後のプレゼンテーション実践演習も、講師の原点を再履修出来て良かったとして、大変役に立った(70%)、役に立った(30%)と高評価をいただいた。

講習会や指導を行うための支援要望としては、国の施策である講習会に参加したことを証明することができれば、地域の商工会議所等への共催の働き掛けをより積極的に行うことができ、講習会開催の回数や中小企業への働きかけも加速するとの意見があった。

第 13 章 指導者による地域での講習会の開催

指導者育成セミナー受講者が、実際に指導者として各地の中小企業の経営層の方々に対する「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施してもらうことで、本事業の目的とする中小企業経営者への指導者としての経験を積んでもらうこととしており、今年度も積極的な開催を推奨してきた。

対象とする講習会は、2013年2月末までに開催し、10名以上に対して最低2時間を実施。中小企業の企業内の情報セキュリティ対策を行う経営者等に対して、講習用テキストの内容やセミナーで行った演習に基づいて、講習会を行うこととした。

また、講習会を実施する指導者として、地域の中小企業に広くお知らせするため、指導者氏名等(希望内容のみ)を本促進事業のホームページに掲載した。

< 指導者のご紹介ページ >

<http://www.jnsa.org/ikusei/seminar/instructor.html>

講習会を開催した際に、参加した受講者からアンケートを収集するとともに、開催状況を当協会に報告してもらっており、実施された講習会の実施状況等を以下に記載する。

(ア) 開催回数……………45回

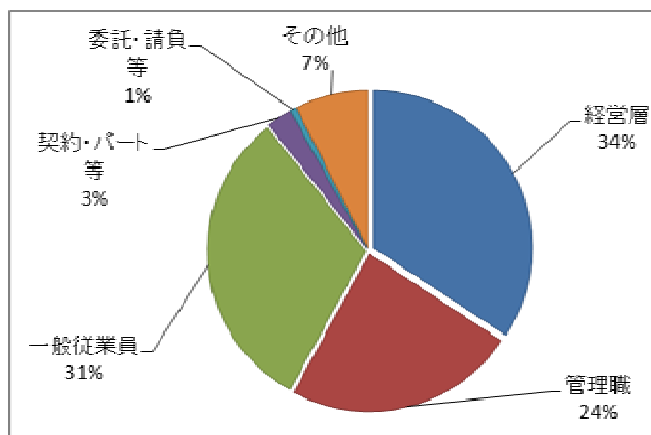
今年度は前年度の59回を若干下回ったが、謝金対象ではない講習会も43回行われる予定であり、受講者が地域で講習会を行うことが定着してきたといえる。謝金なし講習会の開催地では近畿(12回)、東北(7回)が多かった。(2013年4月以降の予定も含む)

講習会の内容は 20%がテキスト解説、演習用ビデオとテキストの併用が 42%、演習実施が 38%であった。

開催時間の平均は 2.7H。昨年同様 2H～2.5H が 2/3 を占め、経営層を含めた中小企業の従業員を拘束出来る時間の限界と思われ、1H から 2H で実施できる教育コースのモデルプログラムやテキストの要望が多くなってきている。

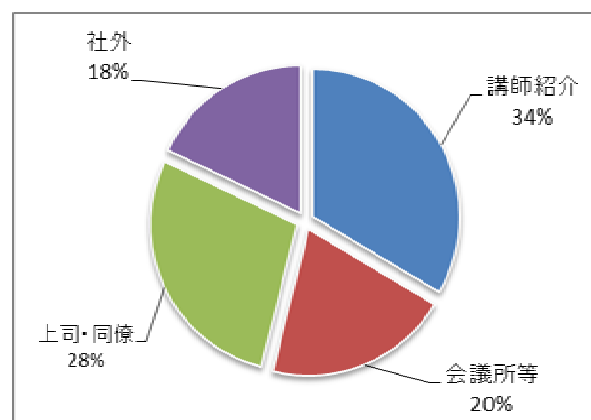
(イ) 受講者……………656 名

役職階層別内訳		受講者数
経営層		225
管理職		155
一般従業員		206
契約・パート		17
委託・請負		4
その他		49
合計		656
再掲:	専任	40
情報セキュリティ担当	兼務	227



(ウ) 参加者の属する組織の従業員数

回答項目	回答数
講師からの紹介	223
会議所等	135
上司・同僚	187
社外	119
合計	664

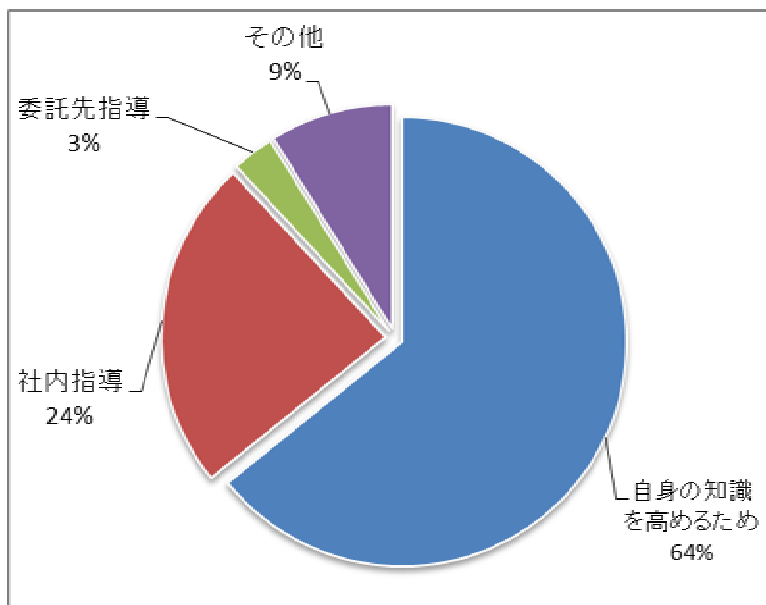


(工) 講習会への参加回数

回答項目	回答数
初回	460
2回目以上	214
合計	674

(オ) 講習会への参加目的

回答項目	回答数
自身の知識を高めるため	464
社内指導	173
委託先指導	22
その他	64
合計	723



(カ) アンケート集計結果

講習内容について

(1) 講義全体

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
267	252	129	21	2

(2) 難易度

簡単	やや簡単	ちょうど 良い	やや 難しい	難しい
66	118	411	61	12

(3) 理解度

理解 できた	ほぼ理解で きた	普通	やや理解で きなかった	理解でき なかった
204	254	187	24	0

(4) 進行の早さ

早い	やや早い	ちょうど 良い	やや遅い	遅い
28	144	465	32	2

(5) 時間数

短い	やや短い	ちょうど 良い	やや長い	長い
50	150	399	63	8

(6) この講習を他社に紹介したいか

ぜひ紹介 したい	紹介 したい	どちら でもない	あまり紹介し たくない	紹介したく ない
102	326	216	12	3

講師ごとに同じ講習内容で行ったわけではないため単純比較は難しいが、おおむね好評というアンケート結果となった。

特に、テキストの評価は依然として高く、中小企業のレベルに合っているという意見が多く聞かれた。時間数も、ほとんどがちょうど良い感じているアンケート結果であり、2時間程度が目安であるといえる。

また、ビデオを使った演習は好評であり、ビデオ視聴の後でリスクを発表するという簡単な演習でも、気づきを与えることができたと非常に好評であった。

テキストについて(難易度)

簡単	やや簡単	ちょうど 良い	やや 難しい	難しい
26	70	491	54	7

今年度は、前年度までのテキストを構成変更することを中心に改訂を行った。中小企業で必要とされる情報セキュリティ知識というコンセプトは変えずに、既に通常業務で使用しているメールなどの記載は必要最低限とし、新たな脅威として知っていただく必要がある標的型攻撃やクラウド、スマートデバイスといった最新動向をより詳細に解説した。

受講対象者のレベルにもよるが、テキストの必要部分を選択して2時間程度で講習会を実施できるように作成したことから、おおむね好評価をいただいた。

情報セキュリティ知識は非常に広範で、なおかつ奥も深いだけでなく、日々状況が変わるため、今後も最新データはもちろん、脅威や対策の動向は改訂して行くべきであろう。

今回の講習会を受けて、情報セキュリティ対策を適切に実施できそうですか？

自信が ついた	やや自信が ついた	何とか できそう	やや不安	不安
101	187	255	91	19

自分の意識や知識の低さを認識したり、現実としての脅威を実感するなど、従業員への教育が必要だという意見が多く書かれていた。実践や対策実施のためには、地域の努力だけではなく、国や行政を含めてもう少しサポートが必要という意見もあり、具体的な活動を行うほど、さらなる継続学習が必要であると気づいてもらえた。

情報セキュリティに関する相談者の現状

(1) 相談をできる方の有無

いる	いない
395	256

(2) 1.で「いる」とお答えの方が相談する方

対象者	回答数
IT コーディネータ	122
中小企業診断士	26
EC 実践研修認定講師	0
日商マスター	1
公認会計士・税理士	22
弁護士・司法書士	13
商工会議所など	20
講習会講師	44
社内 IT 管理責任者	125
メーカー・ベンダ SE	71
量販店の SE	16
その他	35

(3) 1.で「いない」とお答えの方の相談する方の必要性

必要	不要	どちらとも いえない
139	21	100

相談する対象者がいる者は60%と、前年度とほぼ変わらない状況。まだまだ3分の1以上は誰にも相談できないでいる現状があり、中小企業が事業を進めるうえで参考になる情報を持ち、なおかつ情報セキュリティ知識を保有している人材の育成とマッチングが必要である。

相談する者がいないと答えた者のうち、必要だと感じているものは前年とほぼ同じく約半数しかいない。前年度調査時と変わっておらず、地域での指導者育成と、適切な指導者の必要性認知を進めていく必要がある。

(キ) 指導者意見

指導者として実際に講習会を実施してもらったうえで感じたことを答えてもらったが、5年間行ってきた実績により、非常によくなっている面とともに、数年間行ってきたからこそその課題の出現もある。

評価されるべき点

- ・ 参加者に温度差があり、積極的に参加する人と、そうでない人の差を感じたが、情報セキュリティというものに理解がない人にも興味をもってもらえたのは良かった。
- ・ プロセスベースに基づくリスク評価と対応を強化する段階になってきていると考えるが、今回のビデオや演習は、監査、点検などの進め方、評価などを含んでおり、非常に有効だった。
- ・ グループ討議や演習を取り入れたが、非常にイメージしやすく好評であった。IT 関連のものを理解させるには、活字よりも映像の力の方が優れている事を実感できた。

課題とすべき点

- ・ セキュリティに対する意識が高い参加者の場合には、セキュリティの重大さを感じておられたが、このようなセミナーに参加しない人(意識の低い人)に対してどのように啓発するかを考えて行く必要がある。
- ・ 講習会への参加しやすさを考えると、1 回あたりの謝金増や、複数回開催対応など、一人の指導者が複数回数を企画できる方がいい。
- ・ 受講対象者間での知識レベルの乖離が大きいため、実施時間数や講習内容をどの程度とするかを悩んでいる。
- ・ 講習会で使いやすい資料等があるとよい。
- ・ 地方としての開催は、集客に苦労することが多い。

第14章 まとめ

中小企業情報セキュリティ対策促進事業として5年目を迎え、中小企業を指導する立場にある様々な方々等を受講対象者とした「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を実施した。企画にあたっては、事業主旨はもとより前年までの成果や課題を基に内容検討を行い、中小企業の経営者に対して指導者がより効果的に指導が行えるセミナーとして実施にこぎつけた。最終的に全国21都道府県で全23回開催することが出来たが、約6ヶ月という短い期間で開催したにも関わらず、参加人数は1,028名を数え、予定した会場すべてで無事開催することができた。また、今年度は講師スキル養成講座も2回開催し、49名の指導者に対して講師としてのスキル強化を行えた。これもひとえに経済産業省を始め、独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫、さらには地域のNPOなど多くの関係機関の皆様の協力の賜物である。

今年度は、過去4年間で実施した内容と、地域ごとに成長していただいた地域の指導者のスキルレベルを検討し、中小企業で行われている情報セキュリティ対策をPDCAを意識したものとし、日常業務の中で点検・チェックを行い、必要に応じて対策の見直しを行う意義や方法を重視したカリキュラムとした。グループ討議も、対象企業のルールや規程を指導者として見直し改善提案するという新しい演習方法でのセミナーとしたことで、これまで以上に指導に役立つ内容だという意見を多くいただいた。

さらには、受講いただいた参加者が指導者として、地域企業を対象に講習会を行ってもらう施策を継続して実施。講習に参加した中小企業の意見には「従業員への教育の必要性を痛感した」、「関連企業にも紹介したい」といった感想が多くなっており、中小企業の経営者への情報セキュリティ対策の重要性への気づきを与えることが出来たことは、本事業主旨に沿った結果として大きな成果であった。

また、今年度初めての試みである「講師スキル養成講座」を開催したが、参加者からは「中小企業の経営者にも分かりやすく伝えるポイントが分かった」と非常に高評価であり、実際に講習会をするための参考となり、モチベーションが上がったという意見をもらい、時代にマッチした施策であったと感じている。

施策を実施する中で、各地での参加者や会場となっていただいた各団体の皆様から、叱咤激励を含めて今後に向けての貴重なご意見をたくさんいただいております。継続してのセミナー開催や、地域での支援施策を期待していただいている。来年度は、様々な課題を認識し、実施効果を意識しながら具体的な施策を検討し、参加者がより指導的立場で多くの中小企業に接し、「情報セキュリティ」の本質を伝えていただくような、効果的な施策を行っていくべきであろう。

最後になるが、中小企業情報セキュリティ対策促進事業の最終目的を実現するためには、我々事業を実施する側からのアプローチだけではなく、地域の拠点としての商工会議所や都道府県中央会等、あるいはITコーディネータや中小企業診断士を始めとする指導的人材、中小企業の経営者・従業員の企業側の人材のそれぞれの組織・立場の方たちが目的を明確にして、力を合わせた活動にしていくことが重要であろう。関係各位の更なるご協力・ご支援をお願いする次第である。

平成25年3月発行

発行:特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

東京都港区西新橋 1-22-12 JCビル3F

E-mail:sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

「中小企業情報セキュリティ対策促進事業」は経済産業省の委託事業であり、
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)が実施しています。

<http://www.jnsa.org/ikusei/>